

Adobe Illustrator

— 基本編 —

オンライン講習会テキスト

このマニュアルは以下の PC 環境で作成しています。

OS : Windows 10

アプリケーションソフト : Adobe Illustrator CC 2018

明治大学
教育の情報化推進本部

2020 年 12 月 1 日

目次

1. はじめに	3
1.1 Illustrator（イラストレーター）とは.....	3
1.2 Illustrator の利点	3
1.3 Illustrator の欠点	3
1.4 レイヤーについて.....	3
1.5 扱うデータについて	4
1.6 画面構成	5
1.7 よく使う機能.....	5
1.8 操作のポイント	6
1.8.1 プロパティパネル・アイコンパネル.....	6
1.9 ショートカット	7
1.10 Illustrator ショートカット一覧.....	8
2. Illustrarator 基本操作	9
2.1 新規ファイルの作成	9
2.2 ファイルの「保存」	9
2.3 オブジェクトの作成	10
2.4 オブジェクトに色を付ける。	10
2.5 レイヤーの重ね順を変更する。	11
2.6 オブジェクトの縮小	11
2.7 オブジェクトの移動	11
2.8 線を描く	12
2.9 ベジエ曲線の特徴.....	12
2.10 ベジエ曲線をマスターしよう	13
2.10.1 連続した曲線を描く	13
3 オブジェクトの作成（ひよこを描きます）	14
3.1 新規ファイルの作成・保存	14
3.2 楕円形ツールで正円を描きます。	14
3.3 正円をひよこの体に変形	15
3.4 ナイフツールでひよこの羽を描きます。	15
3.5 レイヤーに名前をつけます。	16
3.6 ひよこに色をつけます。	16
3.7 レイヤーのロック	17

3.8.	ひよこに目をつけます。	18
3.9.	ひよこに口ばしをつけます	19
3.10.	ひよこの足を描きます。	20
4	シンボルの活用	21
4.1	ひよこのコピーと反転.....	21
4.2	ひよこを好きな色に変えて、アレンジしてみましょう。	22
4.3	シンボルに登録	22
4.4	ライブラリをシンボルに登録.....	23
4.5	立体的なサイコロ	23
4.5.1..	サイコロに影をつける	25
5	ポスターの作成	26
5.1.	レイアウトの準備	26
5.2.	レイアウトグリッドを作成	27
5.3.	画像の配置.....	27
5.4.	画像をマスクする	27
5.5.	タイトルの作成	28
5.6.	パスファインダー	29
5.6.1..	パスに画像を埋め込み	29
5.7.	エリア内にテキストを挿入	30
5.8.	地図を挿入.....	31
5.9.	背景のデザイン	31
6	Illustrator の保存について	33
6.1.	拡張子「.ai」での保存	33
6.2.	WEB 上で利用する場合	33
6.3.	印刷用に画像を綺麗に書き出す	34
6.4.	PDF で保存する	35

1. はじめに

1.1 Illustrator（イラストレーター）とは

イラスト制作からロゴや図面、広告、チラシなどデザインすることができるアプリケーションソフトです。印刷業界などあらゆる分野で使用されています。

1.2 Illustrator の利点

Illustrator で作るイラストは「ベクター画像」と呼ばれています。ベクター画像は線で作られており、線で囲まれた部分に色をつけて表現しています。画像を拡大・縮小しても劣化しない特徴があります。

1.3 Illustrator の欠点

写真や油絵、水彩画のような、輪郭がはっきりしない複雑な色の表現には向いていないとされています。しかし、CS5以降に筆ツールが追加され、ある程度の有機的表現が可能になりました。

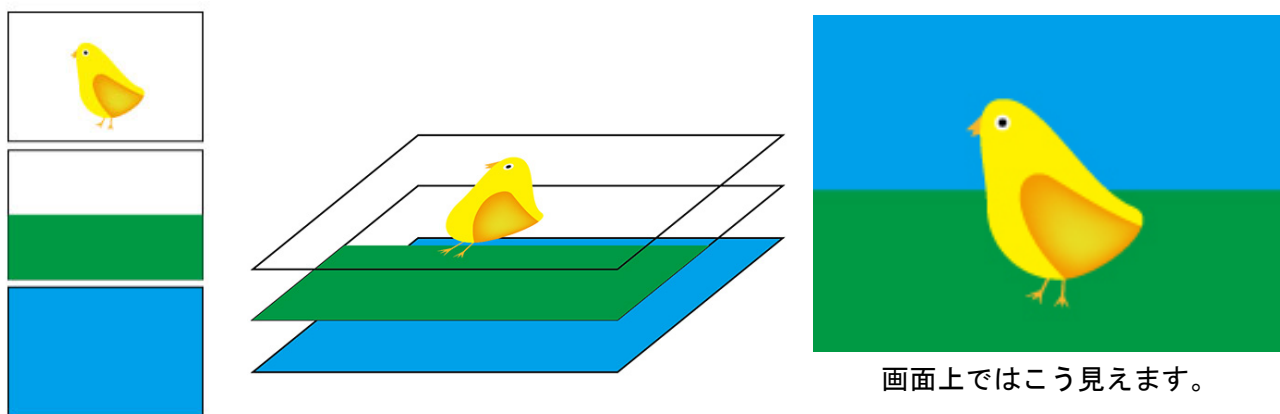
また、このような分野はPhotoshopが得意とします。

PhotoshopとIllustratorの両方の操作方法を習得すれば、デザイン作成にかなり役立ちます。

1.4 レイヤーについて

Illustratorでは、複数のイラストや図形（オブジェクト）を組み合わせるレイアウトするため、他のオブジェクトに影響を与えないように、パーツごとに「レイヤー」と呼ばれる層に分けて作業していきます。レイヤーの1つ1つが透明なフィルムに描かれたパーツであり、それらを重ねると「完成した1枚の絵」になるイメージです。

画面上では上にあるレイヤーほど手前に表示されます。



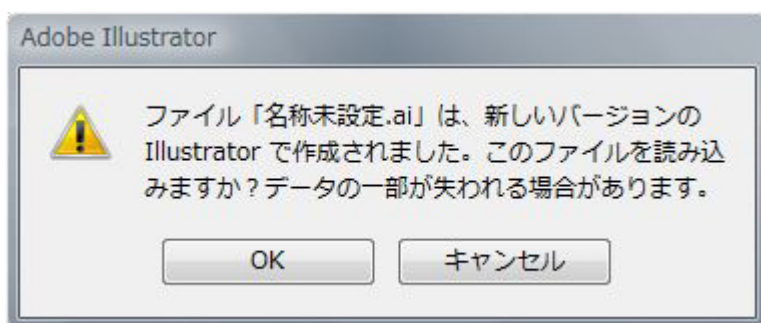
複数のレイヤーに分けて作成することで、イラストやレイアウトの修正・変更が容易になります。慣れないうちは、別のレイヤーに上書きしてしまわないように、操作中のレイヤー以外はロックして作業しましょう。

1.5 扱うデータについて

Illustrator で作成したデータは、通常「Illustrator 形式」というファイルで保存されます。拡張子は「.ai」です。

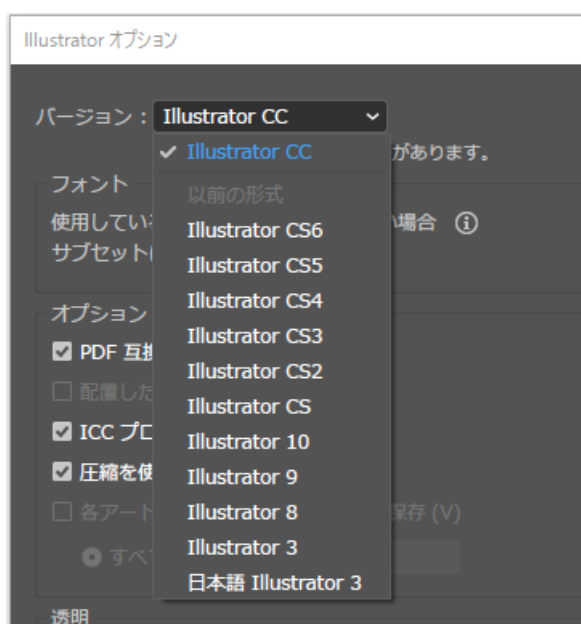
Illustrator 形式は、Illustrator CC で作成すると「Illustrator CC 形式」として、Illustrator CS6 で作成すると「Illustrator CS6 形式」として保存されます（保存の際、形式の変更も可能）。

新しいバージョンで作成したファイルを古いバージョンの Illustrator で開こうとすると、下図のようなウィンドウが開き、元ファイルが完全に再現できない場合があります。



中野キャンパスに導入されている Illustrator のバージョンは、「Illustrator CC」です。CC で作成したファイルを CS6 以前のバージョンで開く場合、以下の手順でファイルを保存します。

- ① 保存するときに「別名で保存」を選択します。
- ② ファイル名を指定して「保存」ボタンを選択すると、「Illustrator オプション」ウィンドウが開きます。
- ③ 現在のバージョン「Illustrator CC」をクリックしプルダウンメニューから、該当するバージョンを選択後、保存します。

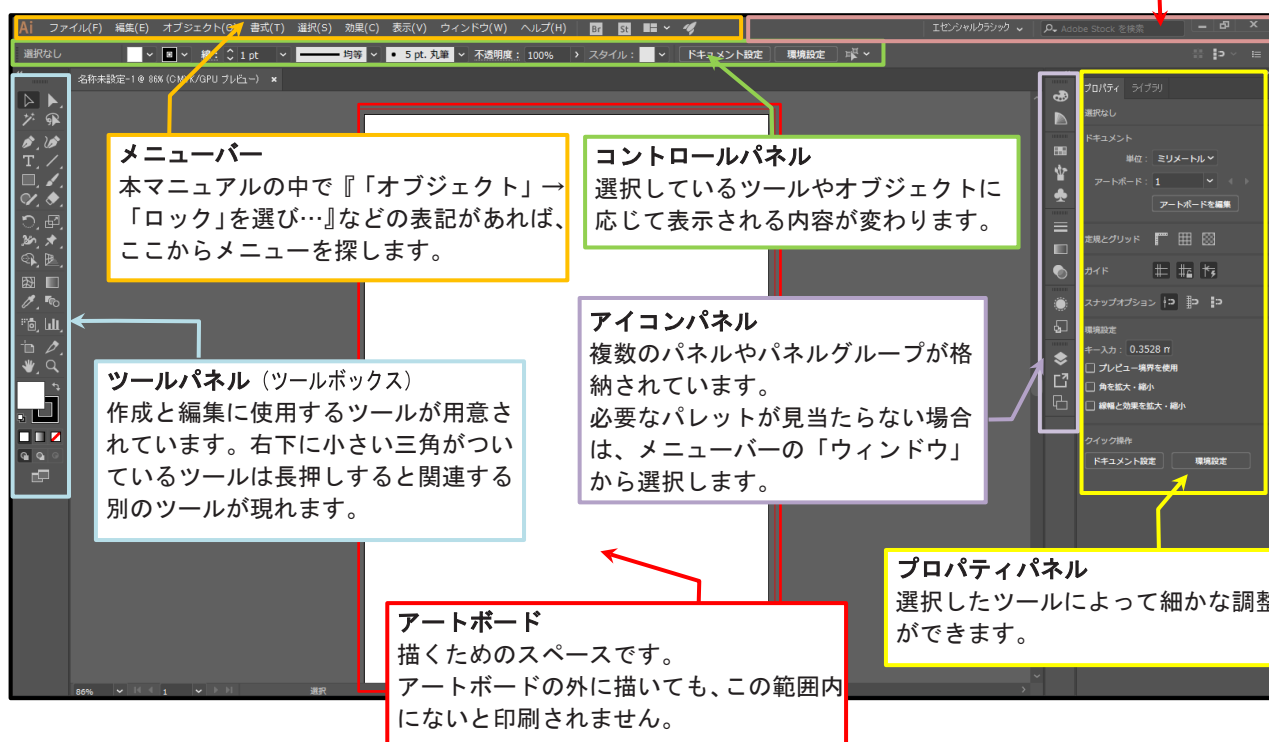


※ 新しいバージョンの Illustrator で古いバージョンで作成したファイルを開くことは可能です。

1.6 画面構成

アプリケーションバー

Adobe Bridgeへの切り替え、ドキュメントウィンドウの表示方法の変更、ワークスペースの配置の変更、検索ボックスからのトピック検索である。



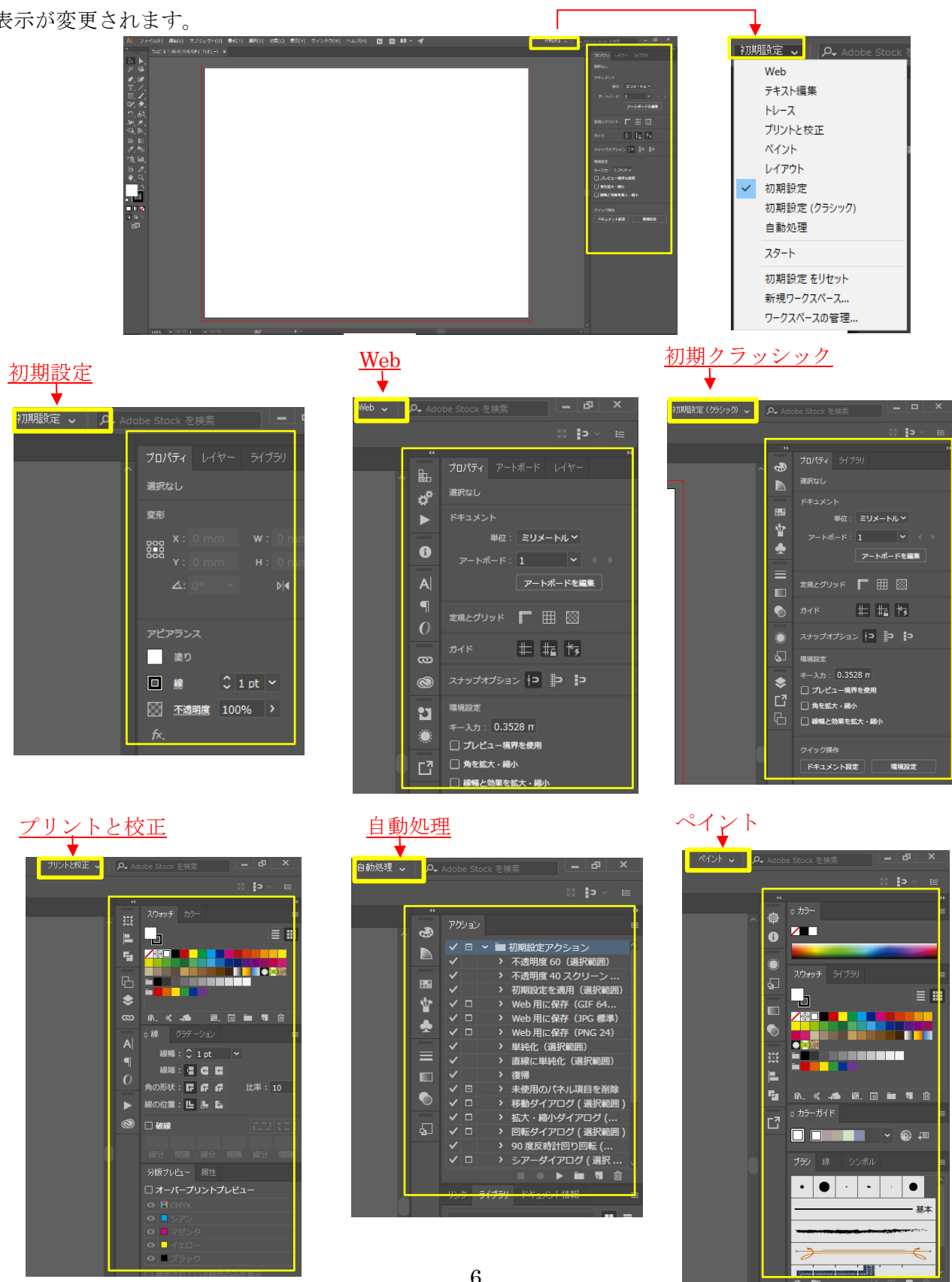
1.7 よく使う機能



1.8 操作のポイント

1.8.1 プロパティパネル・アイコンパネル

アプリケーションバーの「ワークスペース切り替えコントロール」は起動時に「初期設定」になっていますので、使用内容に応じてプルダウンメニューから選択するとプロパティパネルやアイコンパネルの表示が変更されます。



1.9 ショートカット

Illustrator の作業では、マウスでメニューを呼び出さずキー操作で行う「ショートカットキー」で作業ができます。作業効率が上がるため覚えておくと大変便利です。

① キーボード「Shift」ボタンと「Tab」ボタンを同時に押す

この操作は画面を広く使いたい時に使います。このキー操作で画面右側のパレットタイトルバーが消えます。もう一度、同じ操作をするとパレットタイトルバーが再び表示されます。

② 「Tab」ボタンだけ押す

この操作は画面左側のツールボックスと画面右側のパレットタイトルバーの両方を消すことができます。

③ その他の代表的なショートカット

- | | |
|---|---------------------------|
| ・取り消し → Win:「Ctrl」+「Z」、 | Mac:「command」+「Z」 |
| ・やり直し → Win:「Ctrl」+「Shift」+「Z」、 | Mac:「command」+「Shift」+「Z」 |
| ・全てを選択 → Win:「Ctrl」+「A」、 | Mac:「command」+「A」 |
| ・複数のオブジェクトを一つのグループにする
→Win:「Ctrl」+「G」、 | Mac:「command」+「G」 |

④ 「表示画面の拡大・縮小」のショートカット

通常はツールパネルの「ズームツール」やメニューバーの「表示」から「ズームイン」または「ズームアウト」を選択しますが、作業中は以下のショートカットキーを用いると大変便利です。

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| ・画面表示の拡大「Ctrl」+「+（プラスのキー）」、 | Mac:「command」+「Shift」+「+」 |
| ・画面表示の縮小「Ctrl」+「-（マイナスのキー）」、 | Mac:「command」+「-」 |
| ・画像 100%表示「Ctrl」+「1（イチの数字のキー）」、 | Mac:「command」+「1」 |
| ・画像全体表示「Ctrl」+「0（ゼロの数字のキー）」、 | Mac:「command」+「0」 |

ショートカットを使う際の操作方法は、二つのキーを同時に押すのではなく、Windows では「Shift」、「Ctrl」、「Alt」キーで、Mac では「command」、「Option」、「Shift」キーを最初に押した状態で組み合わせのキーを押します。

例) 「Ctrl」または「command」+「G」の場合、

- ①キーボード左下の Win:「Ctrl」/ Mac:「command」押し、押した状態のままにします。
- ②そのまま「G」キーを押します。
- ③離すときは「G」キー → Win:「Ctrl」/ Mac:「command」の順にキーボードから手を離します。

次ページに覚えておくと便利な Illustrator ショートカット一覧があります。

1.10 Illustrator ショートカット一覧

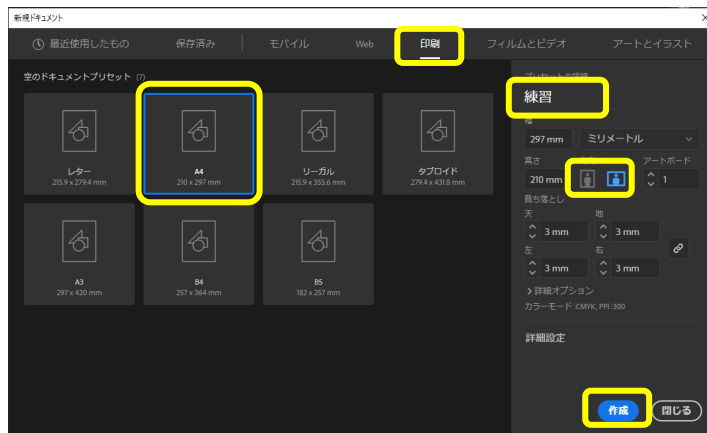
メニュー	機能	Windows	Macintosh
ファイル	新規書類の作成	[Ctrl]+N	[command]+N
	上書き保存	[Ctrl]+S	[command]+S
	新規保存	[Ctrl]+[Shift]+S	[command]+[Shift]+S
	書類を閉じる	[Ctrl]+W	[command]+W
	アプリケーションを閉じる	[Ctrl]+Q	[command]+Q
編集	コピー	[Ctrl]+C	[command]+C
	カット	[Ctrl]+X	[command]+X
	ペースト	[Ctrl]+V	[command]+V
	背面にペースト	[Ctrl]+B	[command]+B
	前面にペースト	[Ctrl]+F	[command]+F
	背面に	[Ctrl]+[	[command]+[
	前面に	[Ctrl]+]	[command]+]
	最前面に	[Ctrl]+[Shift]+]	[command]+[Shift]+]
	最背面に	[Ctrl]+[Shift]+[	[command]+[Shift]+[
	前の処理を繰り返す	[Ctrl]+D	[command]+D
	前の処理を取り消す	[Ctrl]+Z	[command]+Z
	取り消した処理をやり直す	[Ctrl]+[Shift]+Z	[command]+[Shift]+Z
	環境設定	[Ctrl]+K	[command]+K
オブジェクト	グループ化	[Ctrl]+G	[command]+G
	グループ解除	[Ctrl]+[Shift]+G	[command]+[Shift]+G
	グリッピングマスクの作成	[Ctrl]+7	[command]+7
	ロック	[Ctrl]+2	[command]+2
	ロックの解除	[Ctrl]+[Alt]+2	[command]+[Option]+2
書式	文字のアウトライン化	[Ctrl]+[Shift]+O	[command]+[Shift]+O
選択	すべてを選択	[Ctrl]+A	[command]+A
表示	全体表示	[Ctrl]+0	[command]+0
	100%表示	[Ctrl]+1	[command]+1
	表示倍率縮小	[Ctrl]+[-]	[command]+[-]
	[プレビュー]と[アウトライン]の切り替え	[Ctrl]+Y	[command]+Y
	定規の表示・非表示	[Ctrl]+R	[command]+R
	オブジェクトのガイドライン化	[Ctrl]+5	[command]+5
	ガイドラインを隠す	[Ctrl]+[:]	[command]+[:]
	表示倍率縮小	[Ctrl]+[-]	[command]+[-]
	表示倍率拡大	[Ctrl]+[+]	[command]+[Shift]+[+]
ウィンドウ	全パレットの表示・非表示	[Tab]	[Tab]
	[文字]パレットの表示	[Ctrl]+T	[command]+T
	[レイヤー]パレットの表示	[F7]	
	[タブ]パレットの表示	[Ctrl]+[Shift]+T	[command]+[Shift]+T
ツール	選択ツール	V	V
	ダイレクト選択ツール	A	A
	自動選択ツール	Y	Y
	なげなわツール	Q	Q
	ペンツール	P	P
	回転ツール	R	R
	文字ツール	T	T
	直線	¥ (円記号)	¥ (円記号)
	長方形ツール	M	M
	楕円形ツール	L	L
	[ズーム]ツール	Z	Z
	[手のひら]ツール	[スペースバー]押下している間 [H] 1度の押下で操作可能	[スペースバー]押下している間 [H] 1度の押下で操作可能
	複製	[Alt]+ドラッグ	[Option]+ドラッグ
レイヤー	新規レイヤー	[Ctrl]+L	[command]+L

※上記以外にも Adobe「Illustrator のデフォルトショートカットキー」が下記の URL から閲覧できます。
<https://helpx.adobe.com/jp/illustrator/using/default-keyboard-shortcuts.html>

2. Illustrator 基本操作

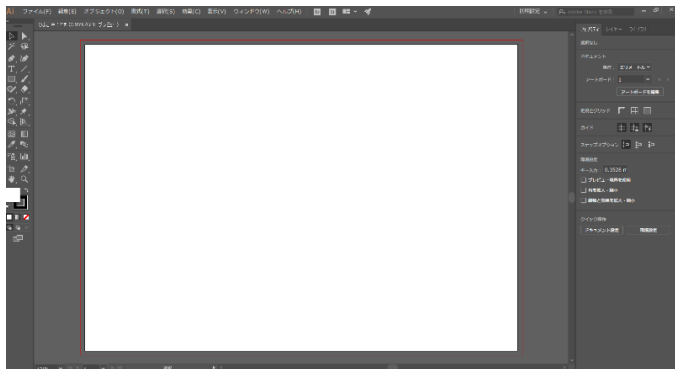
2.1 新規ファイルの作成

イラストレーターを起動し、「ファイル」→「新規」ドキュメント設定を下記のように設定します。



- ◎タブ：印刷（印刷する場合）
- ◎サイズ：A4（必要サイズの応じて）
- ◎プリセットの詳細：「練習」
- ◎単位：[ピクセル]または[ミリメートル]
- ◎方向：縦または横
- ◎カラーモード：[RGB]または[CMYK]
※「印刷」では[CMYK]
- 「Web」「フィルムとビデオ」等は[RGB]
- ◎作成ボタンをクリック

アートボードが作成されます。



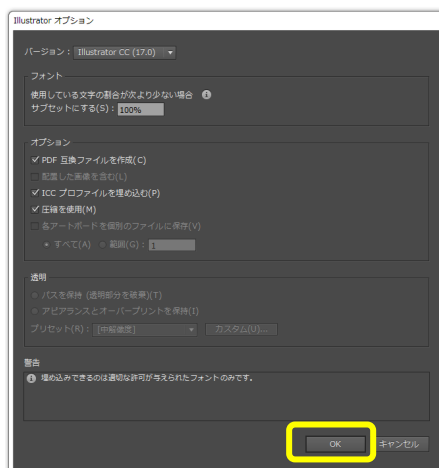
2.2 ファイルの「保存」

キーボードの Win: 「Ctrl」 + 「S」 または、Mac: 「command」 + 「S」 で保存。

新規ファイルの作成でファイル名をつけないで、**「別名で保存」**ウィンドウが表示されるので、名前を付けて任意の場所に保存します。

また、上書き保存をしない場合はメニューの「ファイル」→「別名で保存」を選択し保存します。

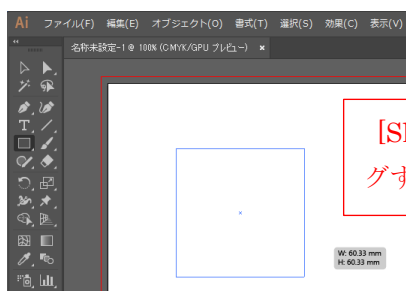
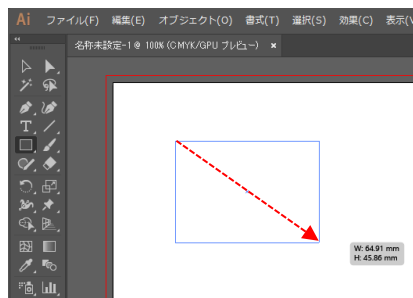
続いて、以下のウィンドウが表示されますが、このまま「OK」をクリックします。



2.3 オブジェクトの作成

■ [長方形ツール]を選択し四角形を描いてみましょう

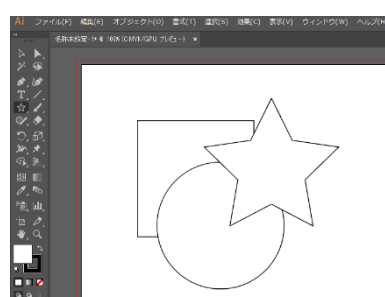
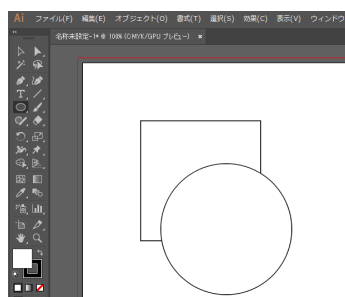
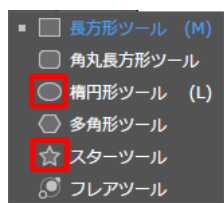
ドラッグした長さの対角線で長方形が描けます。



[Shift]キーを押しながらドラッグすると正方形が描けます。

[楕円形ツール]や[スターツール]を選択し描いてみましょう

長方形ツールと同様に[Shift]キーを押しながらドラッグすると楕円は正円になり、星形は 45 度傾きます。

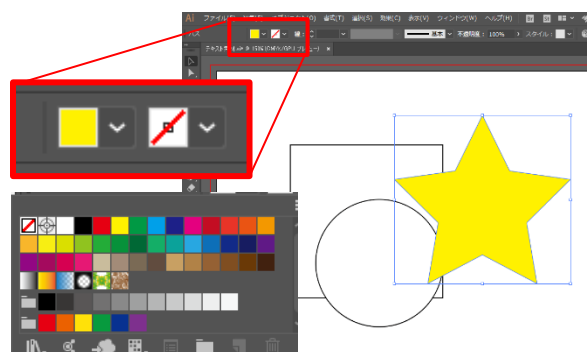
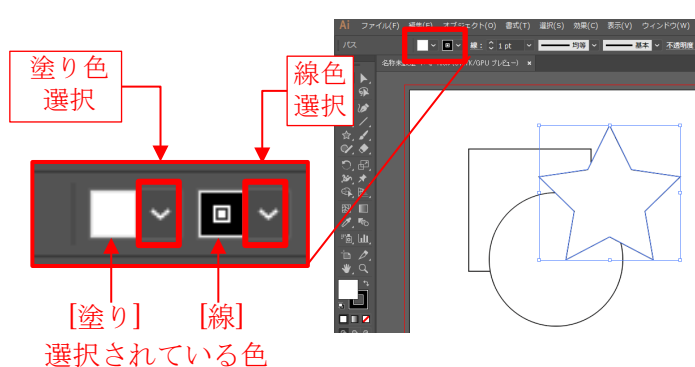
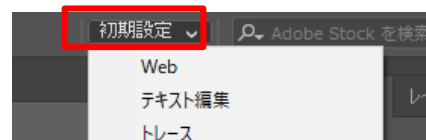


2.4 オブジェクトに色を付ける。

▶ [選択ツール]を選択してスターツールで描いた星をクリックします。

画面左上のカラーパネルから色の選択をします。

※コントロールパネルが表示されてない場合は、右上の[ワークスペース切り替えコントロール]が[初期設定]になっているので、今回は[初期設定(クラシック)]か[Web]を選択します。



円や四角にも色を付けます。



2.5 レイヤーの重ね順を変更する。

- ① 画面右側のレイヤーパネルを選択します。
表示されてなければ、「ウィンドウ」メニューから「レイヤー」を選択。
または、「F7」キーで表示できます。
- ② レイヤーパネルの<パス>レイヤー（黄色い星）を下にドラッグします。

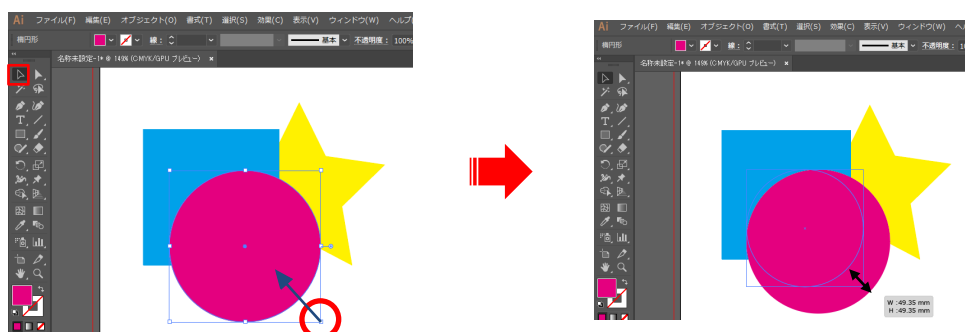


- ③ 黄色い星のレイヤーが下に移動しました。



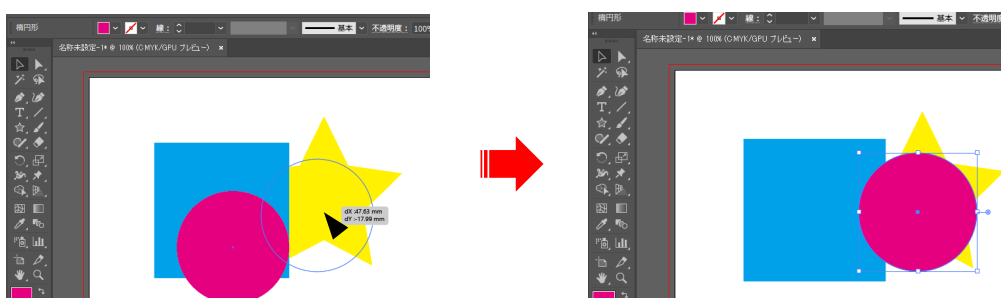
2.6 オブジェクトの縮小

- ① [選択ツール]で縮小するオブジェクトをクリックします。
- ② [Shift]キーを押しながら右下を円の内側にドラッグすると正円のまま縮小されます。



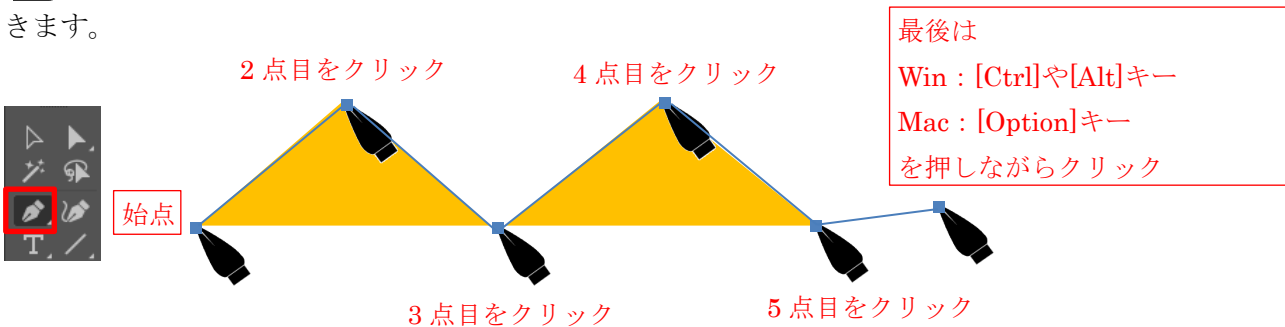
2.7 オブジェクトの移動

[選択ツール]で移動したいオブジェクトをクリックした状態でドラッグします。

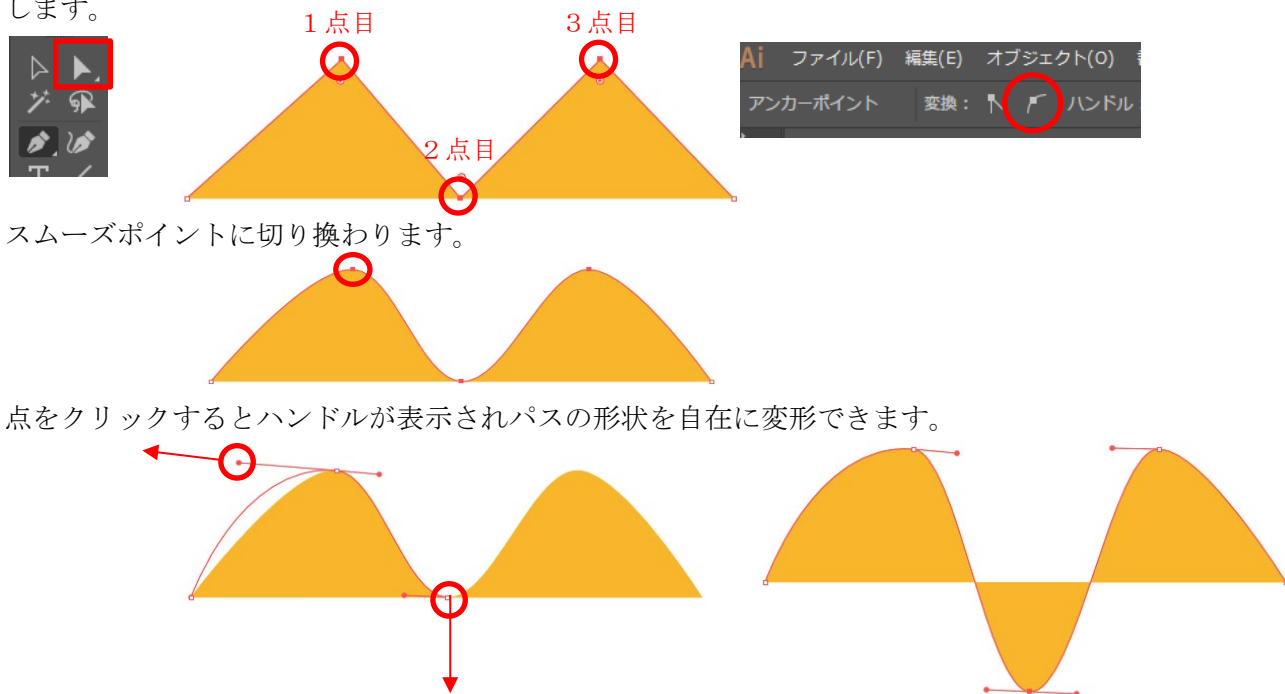


2.8 線を描く

 [ペンツール]は直線や Illustrator の特徴であるベジェ曲線を使った滑らかな自由曲線を描画できます。



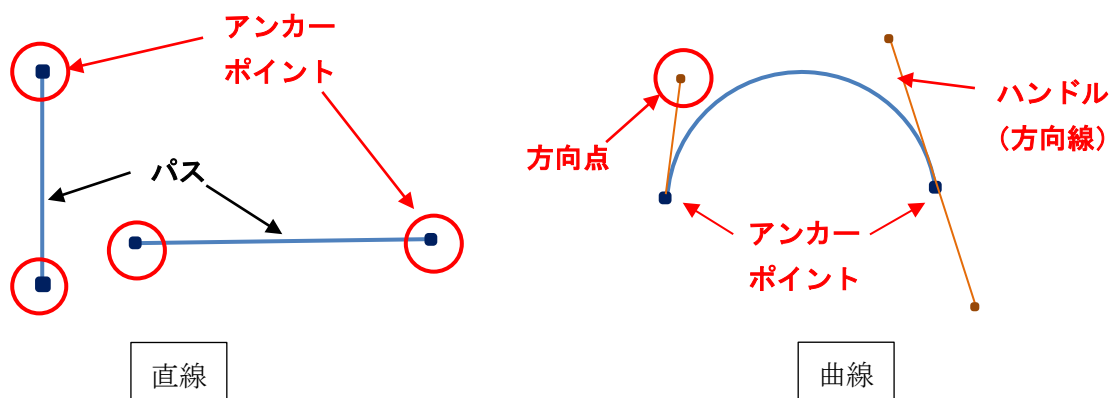
 [ダイレクト選択ツール]を選択し、1 点目をクリック、2 点目、3 点目から[Shift]キーを押しながらクリックします。画面左上の[アンカーポイント]を[スムーズポイント]に切り換えボタンをクリックします。



2.9 ベジェ曲線の特徴

点（アンカーポイント）と（アンカーポイント）間を結ぶパスでできています。

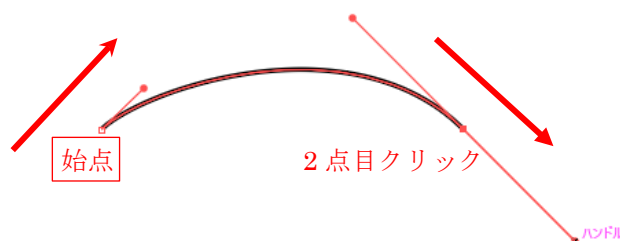
ポイントは座標で定義され、曲線はアンカーポイントから伸びるハンドル（方向線）で形状が決まります。



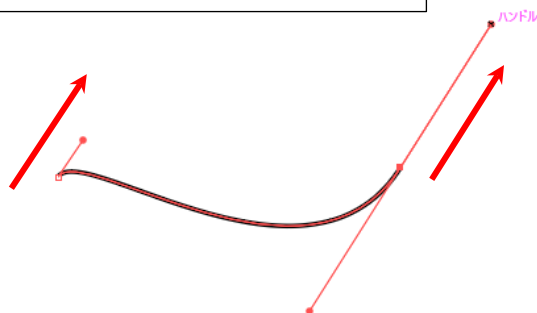
2.10 ベジェ曲線をマスターしよう

 [ペンツール]を選択し、色の選択は[塗]  なし、[線]  黒を選択します。

- ① 始点をクリックした状態で曲線を描く方向にドラッグしクリックを離します。
- ② 2 点目をクリックした状態で始点と同じように曲線を描く方向にドラッグしクリックを離します。
- ③ 終点にする場合は[Ctrl]キーまたは[Alt]キーを押しながらクリックします。

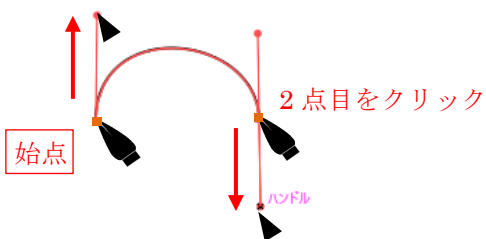


ドラッグの方向によって曲線の形状もかわります。



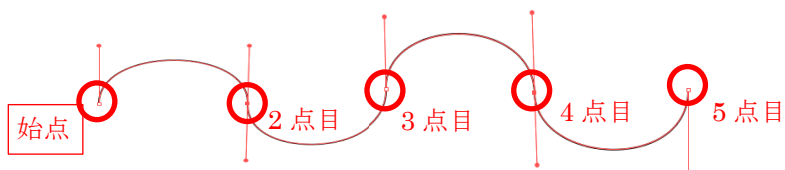
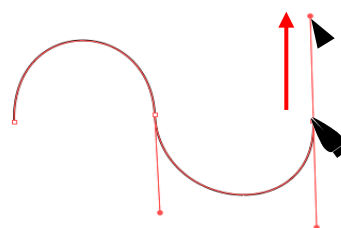
2.10.1 連続した曲線を描く

始点クリックした状態で上にドラッグしクリックを離します。



2 点目をクリックした状態で下にドラッグしクリックを離します。

3 点目をクリックした状態で上にドラッグしクリックを離します。



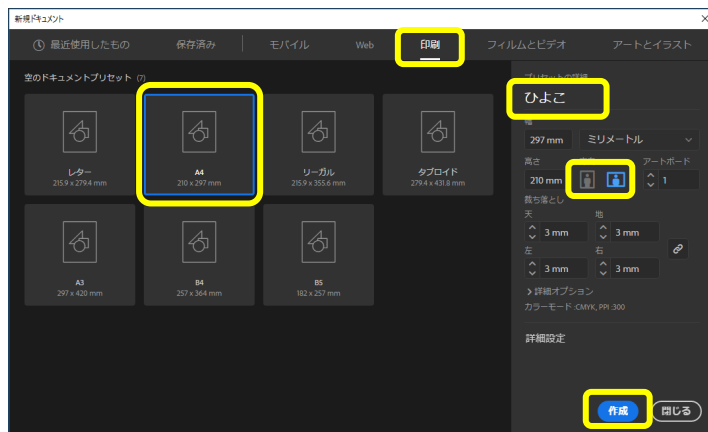
3 オブジェクトの作成（ひよこを描きます）

- ✚ 楕円形ツールで正円を描き、円の頂点のポイントをドラッグしてひよこの形に変形します。
- ✚ 変形した楕円にナイフツールでドラッグして羽の形を描き、個々の形に色をつけます。
- ✚ ペンツールで口ばしと足をつけます。



3.1. 新規ファイルの作成・保存

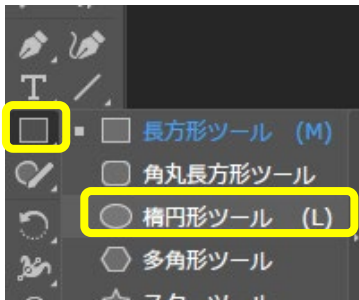
イラストレーターを起動し、「ファイル」→「新規」ドキュメント設定を下記のように設定します。



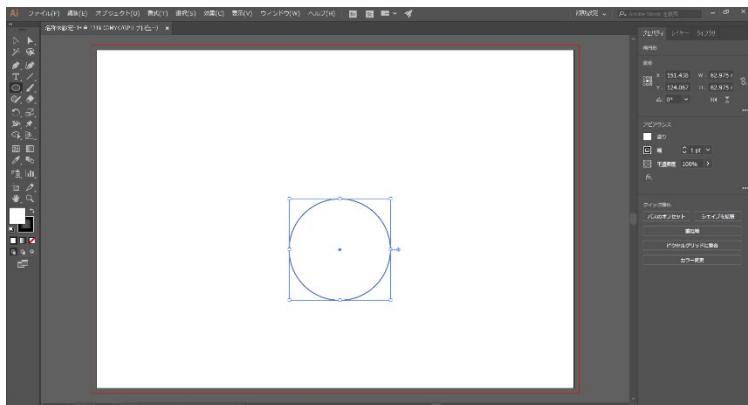
- ◎タブ：印刷
- ◎サイズ：A4
- ◎プリセットの詳細：ひよこ
- ◎単位：ミリメートル
- ◎方向：横長（右側）
- ◎カラーモード：CMYK
- ◎作成ボタンをクリック

3.2. 楕円形ツールで正円を描きます。

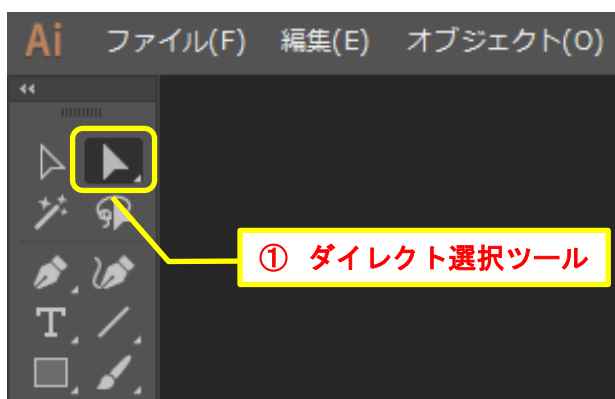
ツールから長方形ツールを長押しにして「楕円形ツール」を選択します。



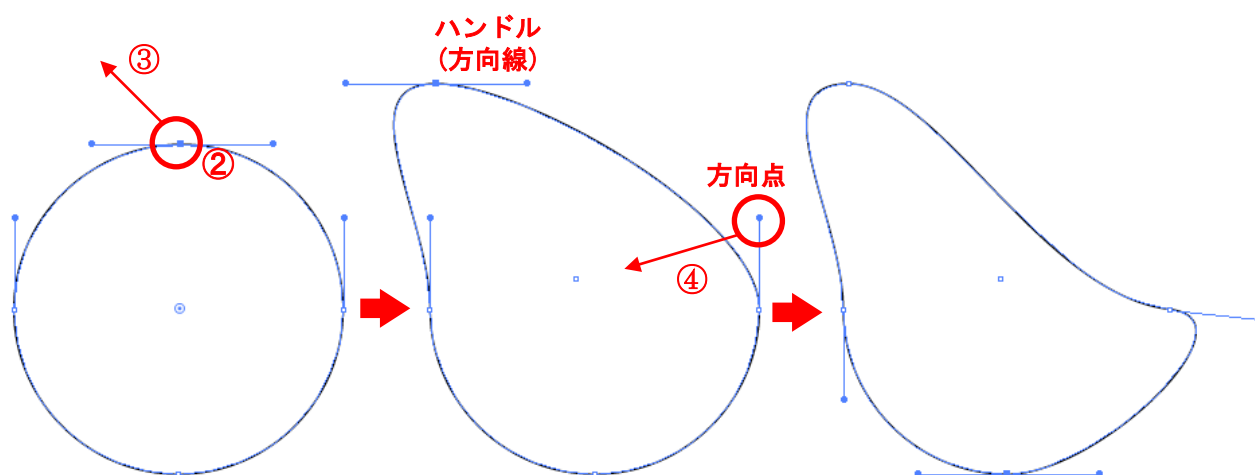
ポイント：楕円形は Shift キーを押しながら円を描くと正円になります。



3.3. 正円をひよこの体に変形

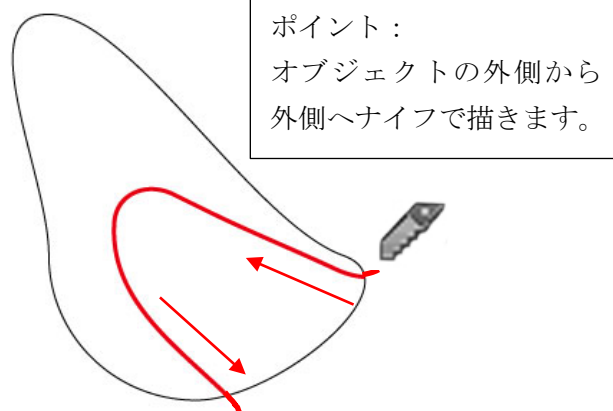
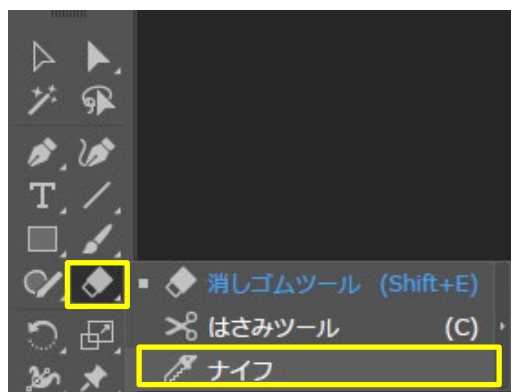


- ① ダイレクト選択ツールを選択
- ② 円の4か所に「アンカーポイント」があります。上のポイントをクリックします。
- ③ 上のポイントを左上にドラッグします。
- ④ 右側のハンドルを中心点にドラッグします。



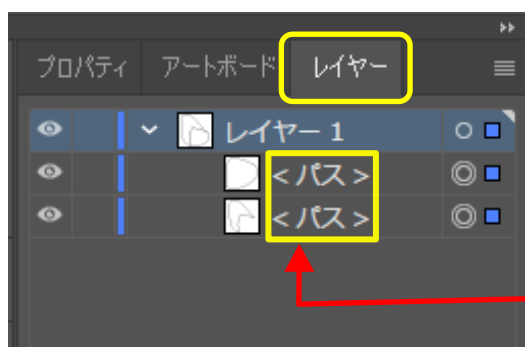
3.4. ナイフツールでひよこの羽を描きます。

- ① 消しゴムツールを長押しにして、ナイフを選択します。
- ② 矢印の方向にドラッグして羽の部分を描きます。



3.5. レイヤーに名前をつけます。

- ① 「レイヤー」タブをクリックし、レイヤーパレットを表示します。
- ② 「レイヤー 1」の左側「▶」をクリックし、「▼」下向きにして展開します。

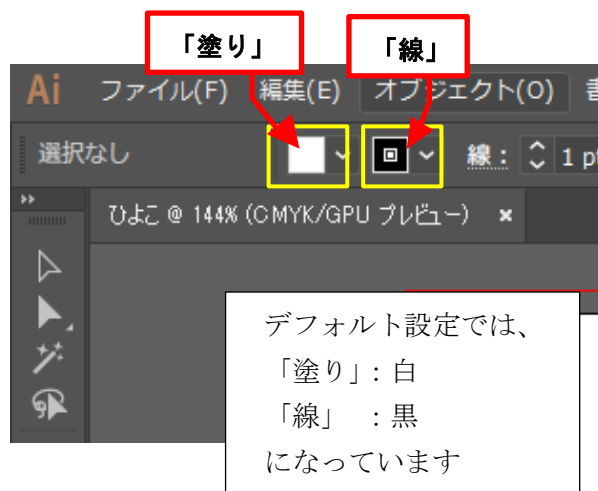
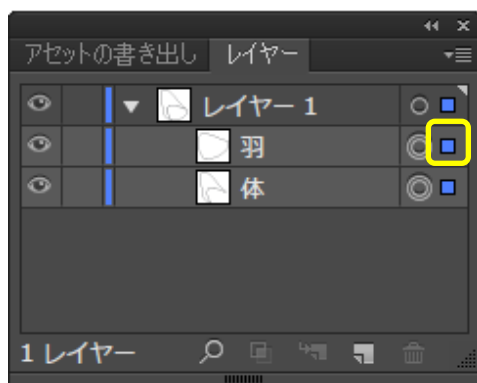


各<パス>をダブルクリックし、レイヤーに名前をつけます。

<パス> : 羽
<パス> : 体

3.6. ひよこに色をつけます。

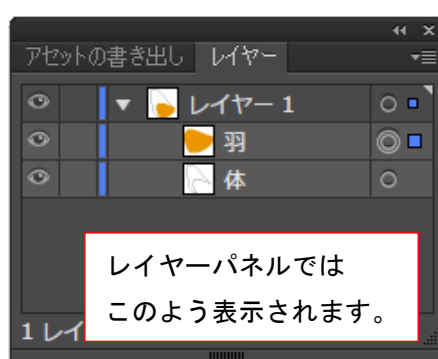
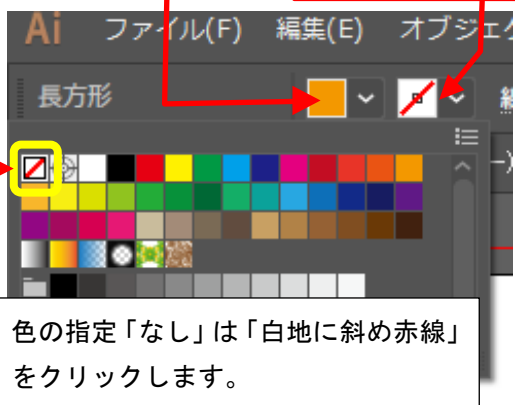
- ① 「羽」レイヤーの右側に印されている ■ をクリックします。
画面の左上に表示されている、左の四角枠が「塗り」の色で、右側の四角枠が「線」の色です。



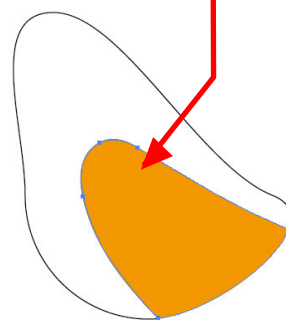
- ② 四角枠をクリックすると、スウォッチパネルが表示されます。
「塗り」：オレンジ色 「線」：なし を選択し羽に色をつけます。

「塗り」：オレンジ
色を選択します

「線」：なし
☒ 選択します



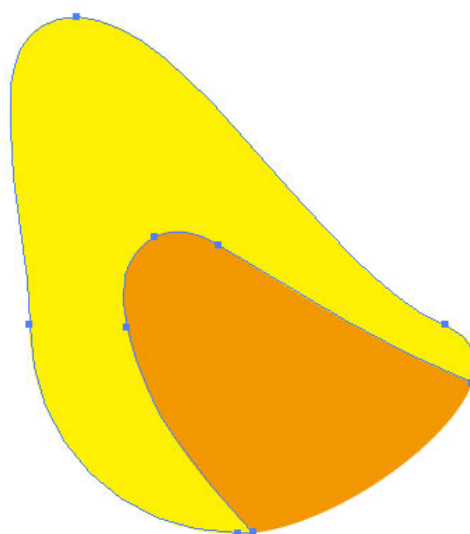
羽にオレンジの色
がつけました。



③ 「体」にも色を付けます。



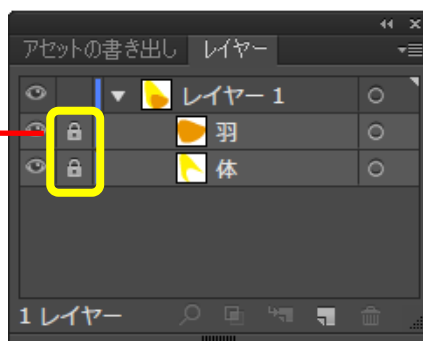
「■」をクリックし「体」のレイヤーを選択し、色を付けます。



3.7. レイヤーのロック

重なり合っているオブジェクトにロックをかけると、一時的に編集不可の状態になり他のオブジェクトの作業がしやすくなります。また、オブジェクトを誤って壊す心配もありません。

目のマークの横をクリックするとロックがかかります。

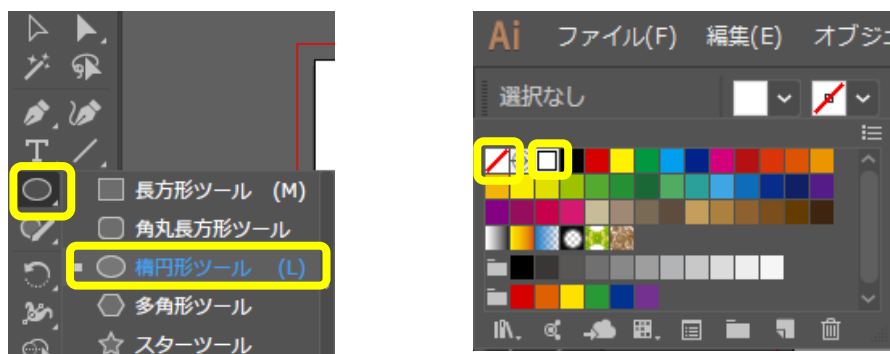


鍵マークがついて
レイヤーにロック
がかかりました。



3.8. ひよこに目をつけます。

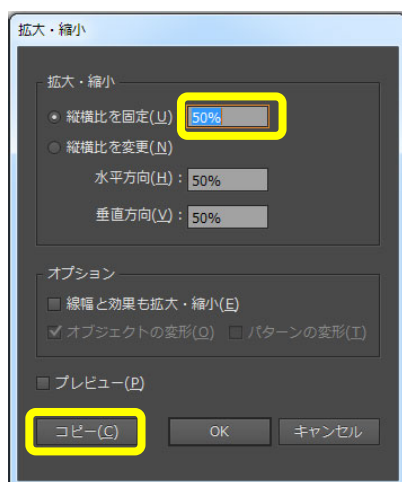
- ① 楕円形ツールを選択し、カラーパレットの塗は「白」、線は「なし」を選びます。



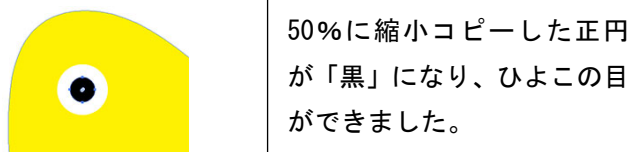
- ② ひよこの目の位置に正円を描きます。



- ③ 目が選択されている状態から、「拡大・縮小ツール」をダブルクリックします。
 ④ 「拡大・縮小」ダイアログが表示され、「縦横比を固定(U):」を「50%」にします。
 ⑤ コピー(C) ボタンを押します。



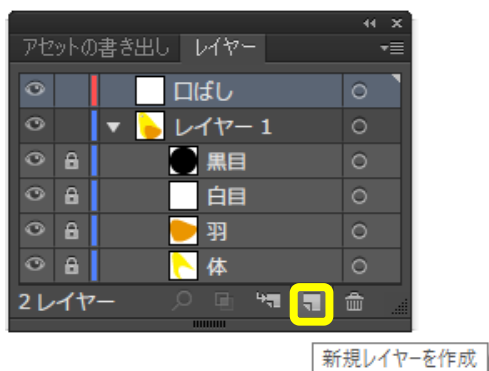
- ⑥ 縮小コピーされた正円をカラーパレットから塗り「黒」を選択します。



- ⑦ 目のレイヤーに「白目」「黒目」の名前を付けて、最後にレイヤーのロックをかけます。

3.9. ひよこに口ばしをつけます

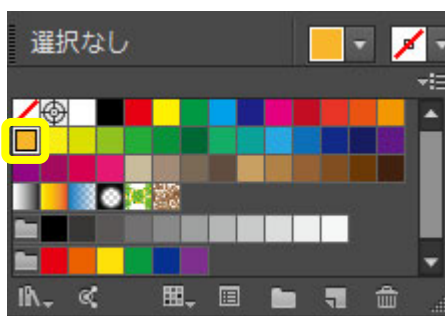
- ① 新規レイヤーを追加するために、下図のように「新規レイヤーを作成」をクリックします。
- ② レイヤー名は「口ばし」にします。



- ③ ペンツールを選択します。

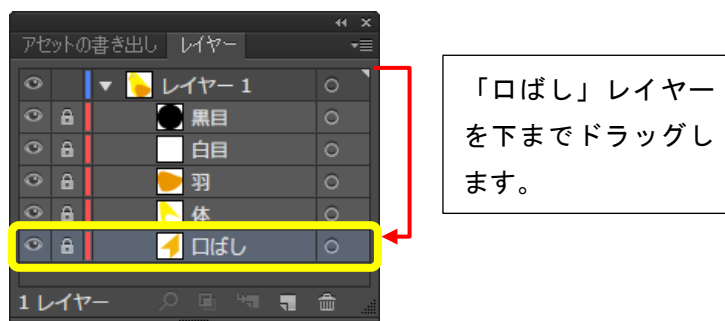
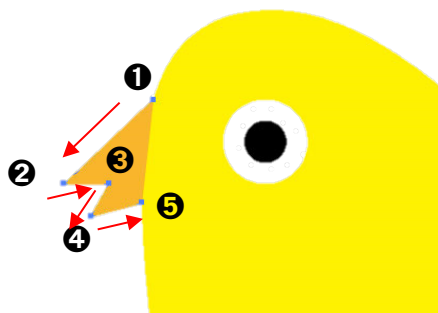


- ④ カラーパレットの塗り「黄オレンジ」、線「なし」を選択します。



- ⑤ ①～④の順番にクリックしていきます。

※ 最後に Win: 「Ctrl」, Mac: 「Option」 キーを押しながら何もないところでクリックすると描画終了になります。



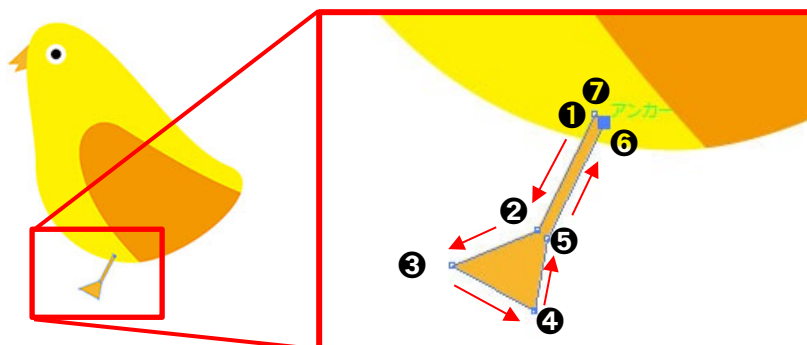
「口ばし」レイヤー
を下までドラッグし
ます。

- ⑥ 「口ばし」レイヤーを「ひよこの体」レイヤーの下にドラッグし、ロックをかけます。

※レイヤーにロックをかけると名前や移動の変更ができないので、ロックは最後にかけましょう

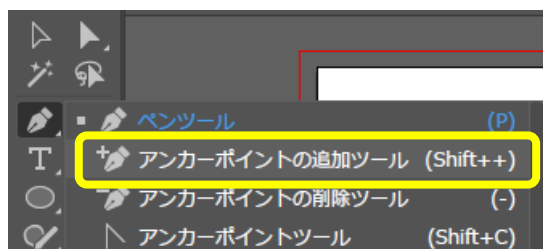
3.10. ひよこの足を描きます。

- ① 新規レイヤーを作成し、レイヤー名「足 1」にします。
- ② ペンツールを選択します。
- ③ カラーパレットの塗りから、「黄オレンジ」を選択します。
- ④ ①～⑥の順番にクリックしていき⑦で①に戻します。



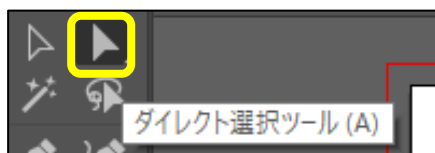
Win: 「Alt」 キー
Mac: 「Option」 キー
押しながらマウスのスクロールホイールを上に戻します。
画面の表示が拡大になり見やすくなります。

- ⑤ ペンツールの長押しで、「+」が付いている「アンカーポイントの追加ツール」を選択します。

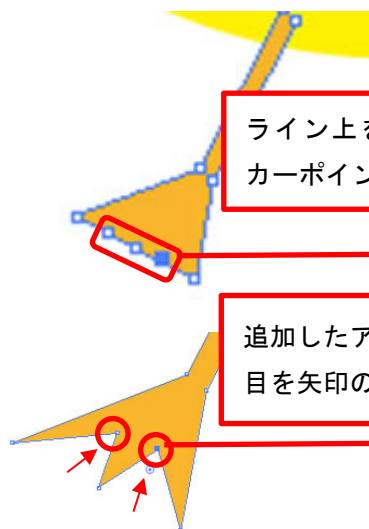


ライン上をクリックするとアンカーポイントが追加できます。

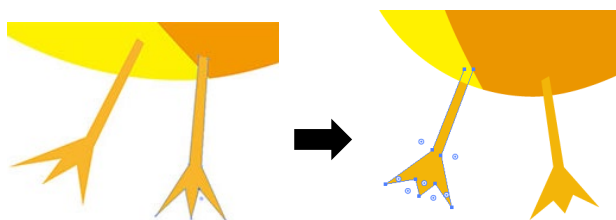
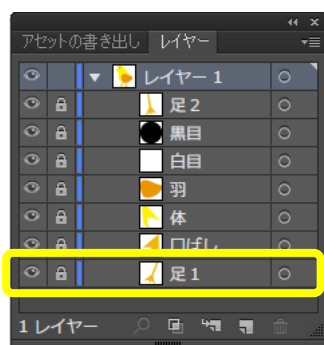
- ⑥ アンカーポイントを 3 か所追加します。
- ⑦ 「ダイレクト選択ツール」を選択します。



追加したアンカーの 1 つ目と 3 つ目を矢印の方向にドラッグします。



- ⑧ 追加した 3 つのアンカーポイントでひよこの指を描きます。
- ⑨ 同じように新規のレイヤーを作り、「足 2」を描きます。
- ⑩ 足 1 レイヤーを「口ばし」レイヤーの下にドラッグします。



ひよこの足 1 が体の下に隠れました。

※ 「ファイル」 → 「保存」 で上書き保存します。

または、キーボードの Win: 「Ctrl」 + 「S」, Mac: 「command」 + 「S」 で保存します。

4 シンボルの活用

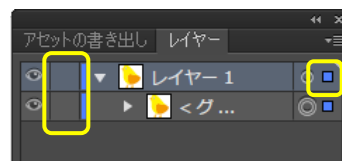
4.1 ひよこのコピーと反転

- ① ロックした全てのレイヤーを解除します。

「オブジェクト」メニューから「すべてをロック解除(K)」

Win : 「Alt」 + 「Ctrl」 + 「2」

Mac : 「option」 + 「command」 + 「2」



- ② 全てのレイヤーを選択します。 Win : 「Ctrl」 + 「A」

Mac : 「command」 「A」

- ③ レイヤーをグループにします。

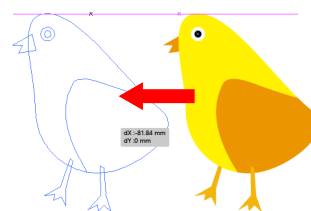
オブジェクトメニューから「グループ(G)」を選択。

Win : 「Ctrl」 + 「G」、 Mac : 「command」 + 「G」

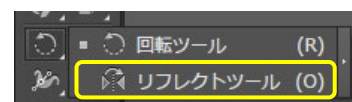
- ④ 「レイヤー 1」を選択し、Win: 「Alt」、Mac 「Option」 キーを押しながらマウスでひよこを左にドラッグします。マウスの移動先にコピーが作成されます。

※コピーのコツ

左へひよこを動かしてから、マウスを離し
「Alt」、 「Option」 キーは最後に離します。

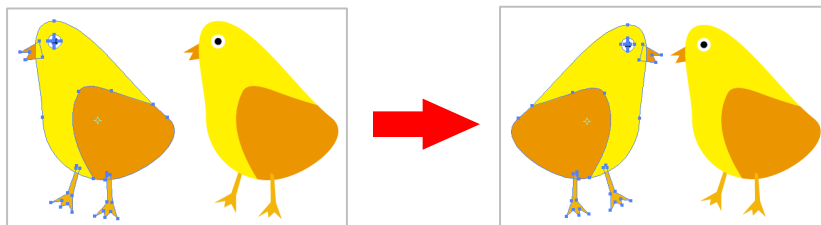


- ⑤ コピーをしたひよこが選択されている状態で、回転ツールを長押しで「リフレクトツール」を選択します。

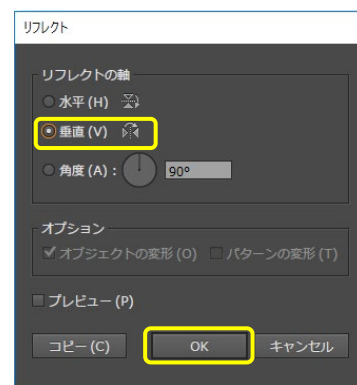


- ⑥ リフレクトツールをダブルクリックし、「リフレクト」ダイアログを表示します。

垂直を選択し、「OK」 ボタンをクリック



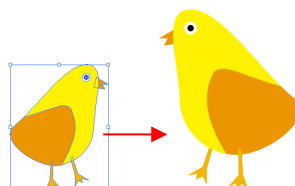
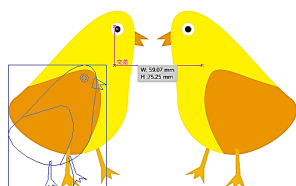
コピーしたひよこが反転されます。



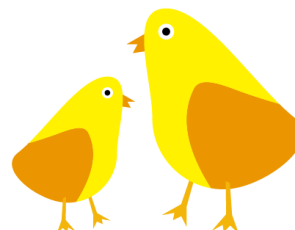
- ⑦ ツールボックスから「選択ツール」をクリックします。



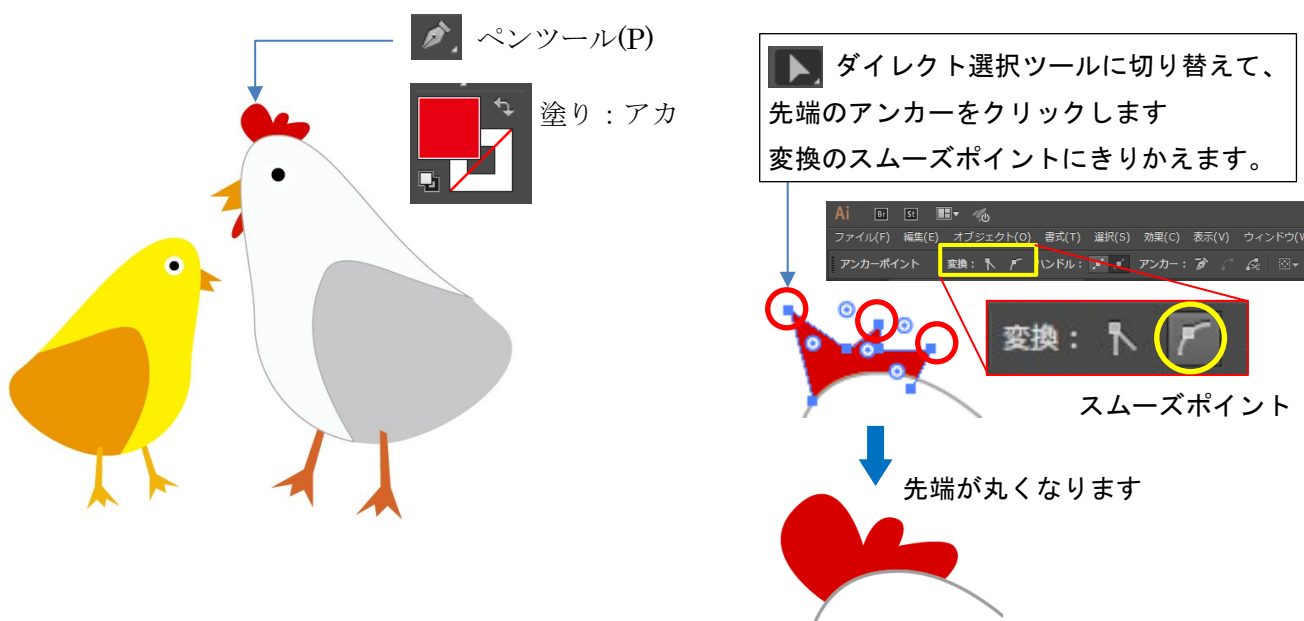
- ⑧ 反転したひよこは「Shift」を押しながら小さくします。



小さくしたひよこを右に寄せます。



4.2 ひよこを好きな色に変えて、アレンジしてみましょう。



4.3 シンボルに登録

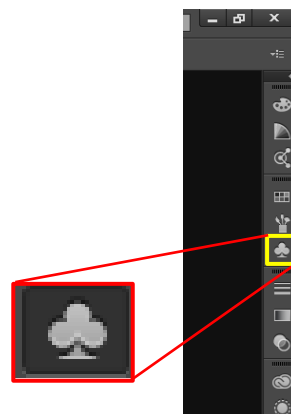
「シンボル」とは、同じオブジェクトを繰り返し使用する際に便利なアートオブジェクトです。

シンボルを作成するとシンボルのインスタンス（コピー）を繰り返し使用してもファイルサイズが軽減されます。

- ① 「レイヤー 1」をクリックし、全てのレイヤーを選択します。



- ② シンボルパレットを画面右側のパレットタイトルバーまたは[ウィンドウ]→[シンボル]でパレットを開きます。



- ③ 選択している画像の中をクリックした状態で、シンボルパレットへドラッグ&ドロップします。



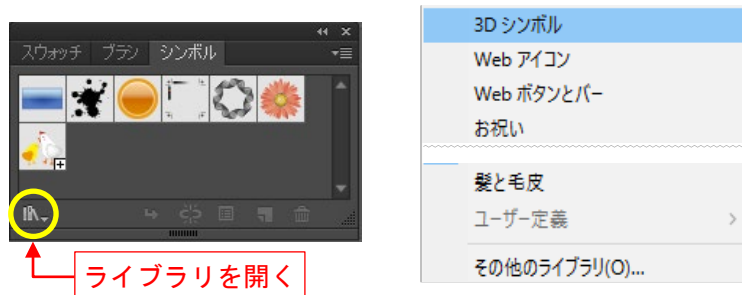
- ④ シンボルダイアログが表示され、タイトルを入力して「OK」ボタンをクリックします。
シンボルとして登録されます。



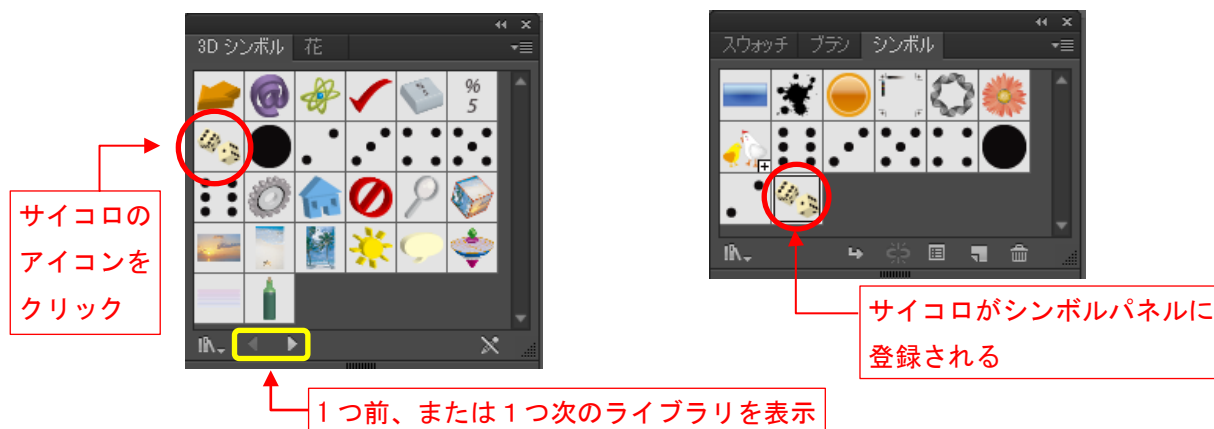
- ⑤ シンボルとして登録した画像は非表示にします。

4.4 ライブラリをシンボルに登録

- ① シンボルパネルの左下のアイコン「シンボルライブラリメニュー」をクリックします。

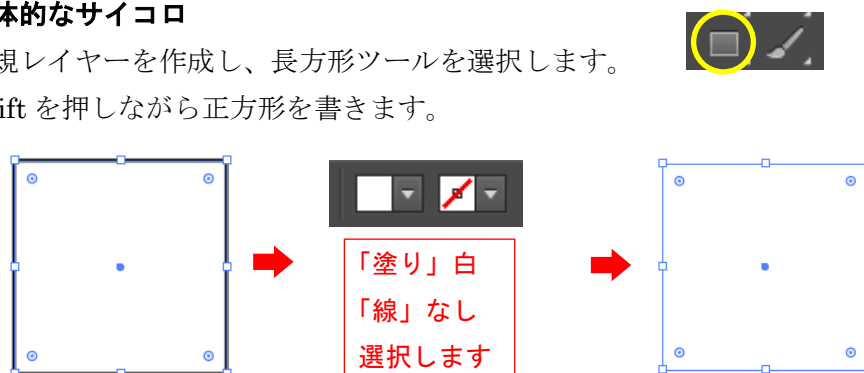


- ② アイコンをクリックすると、自動的にシンボルパネルに登録されます。

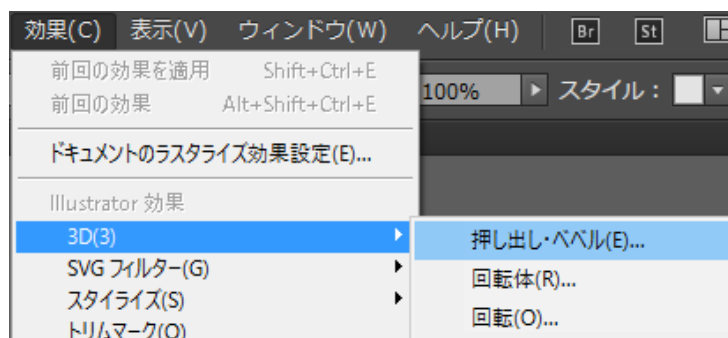


4.5 立体的なサイコロ

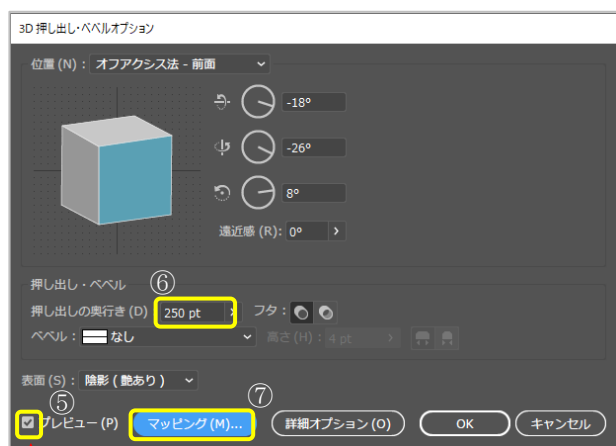
- ① 新規レイヤーを作成し、長方形ツールを選択します。
② Shift を押しながら正方形を書きます。



- ③ 「効果」メニューの「3D(3)」から「押し出し・ベベル(E)」を選択します。



④ 「3D 押し出し・ベベルオプション」 ダイアログが表示します。



チェックを入れる

⑤ 「プレビュー(P)」 チェックを入れる。

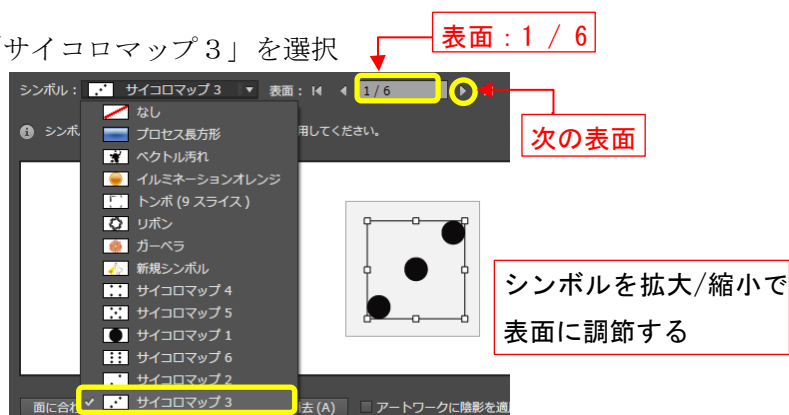
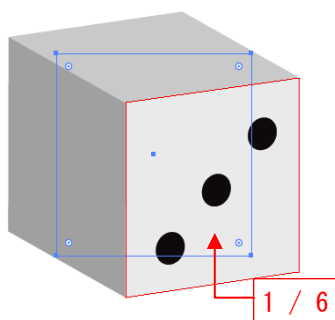
⑥ 「押し出し・ベベル」

「押し出しの奥行き(D)」: 250pt

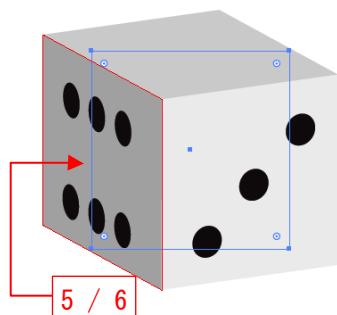
正方形の大きさによって pt 数が異なる

⑦ 「マッピング」 ボタンをクリック

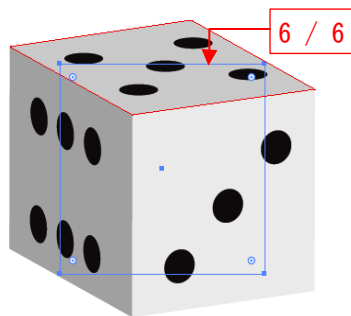
⑧ 表面 1 / 6 の面に、シンボルの「サイコロマップ 3」を選択



⑨ 表面 5 / 6 の面に、シンボルの「サイコロマップ 6」を選択



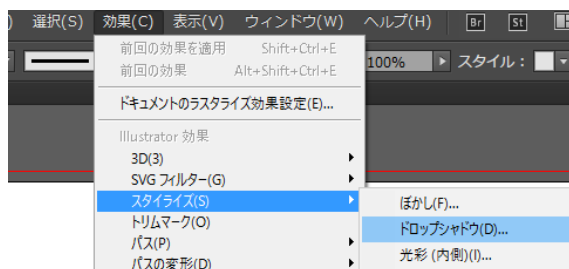
⑩ 表面 6 / 6 の面に、シンボルの「サイコロマップ 5」を選択



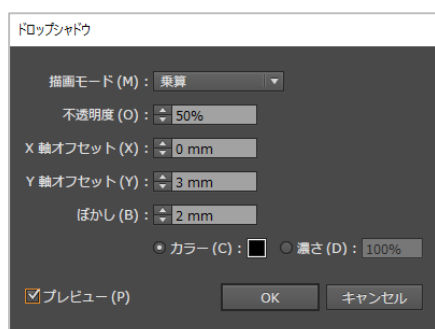
⑪ 「OK」 ボタンでダイアログを閉じます。

4.5.1 サイコロに影をつける

- ① サイコロが選択されている状態で、効果メニュー「スタイルズ(S)」から「ドロップシャドウ(D)」を選択します。



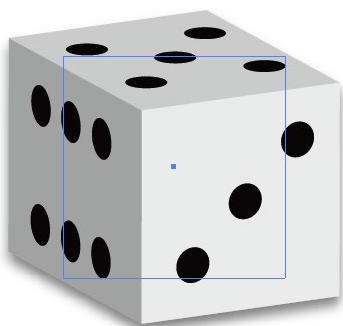
- ② 「ドロップシャドウ」ダイアログが表示され、下記のように設定します。



- ☒ プレビュー(P) にチェックを入れます。

- ・描画モード(M)：乗算
- ・不透明度(O)：50%
- ・X 軸オフセット(X)：0mm
- ・Y 軸オフセット(Y)：3mm
- ・ぼかし(B)：2mm
- ・OK ボタンをクリックします。

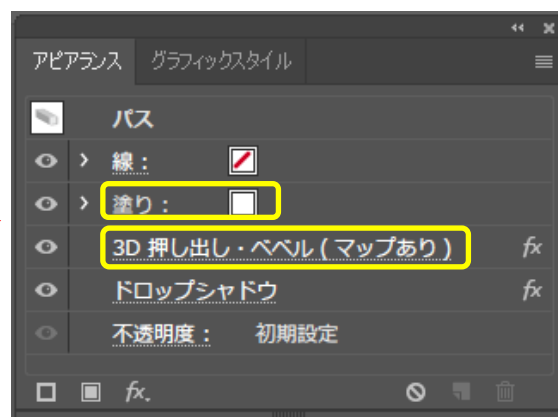
- ③ 立体感があるサイコロになります。



- ④ シンボルに登録したひよこを使ってサイコロにマッピングしてみましょう。
作成したオブジェクトの修正は「ウィンドウ」→「アピアランス」で変更できます。



パレットから「塗り」や「3D 押し出し・ベベル(マップあり)」をクリックしマッピングを変更します。

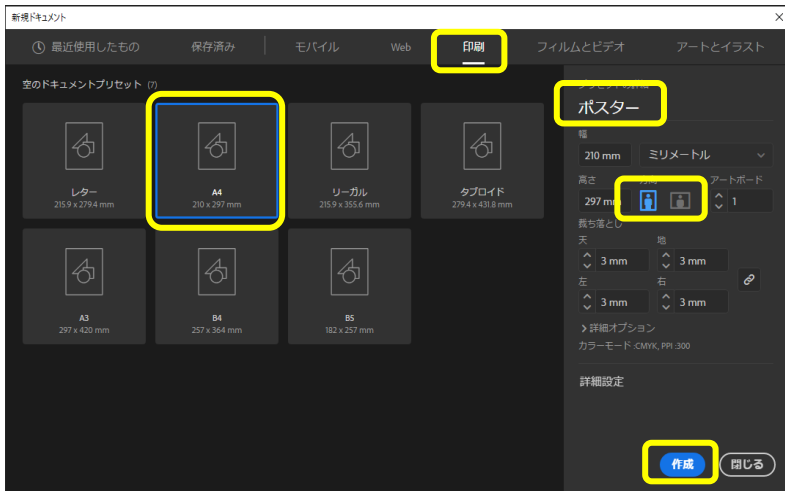


5 ポスターの作成

5.1. レイアウトの準備

- ① 新規ファイルを作成します。

「ファイル」→「新規」を選択し、新規ドキュメントを下記のように設定しアートボードを作成します。



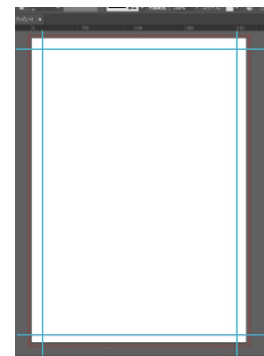
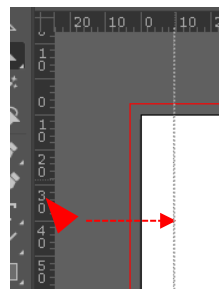
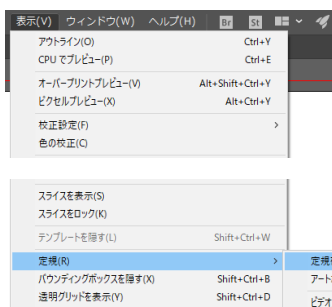
- ◎タブ：印刷
- ◎サイズ：A4
- ◎プリセットの詳細：ポスター（任意）
- ◎単位：ミリメートル
- ◎方向：縦
- ◎カラーモード：CMYK
- ◎[作成]ボタンをクリック

- ② デザインをする前にドキュメントの周囲を適度な余白（マージン）を設けます。

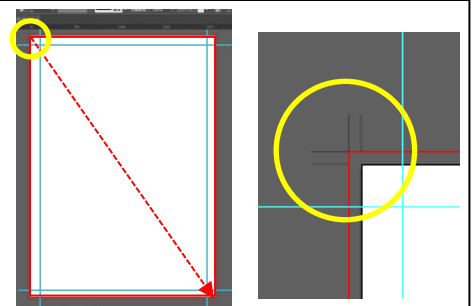
※印刷時に文字切れが無いようにするためや全体を見やすい印象にするためマージンより内側にデザインをします。また印刷会社に依頼する時も必要な条件になります。

- ③ メニュー「表示」→「定規」→「定規を表示」を選択すると左部と上部に定規が表示されます

- ④ 左の定規をクリックして右にドラッグすると垂直のガイド線がひかれ、上の定規から下にドラッグすると水平のガイド線が引き出されます。垂直ガイドと水平ガイドをそれぞれメモリ 5mm～10mm 位に配置します。



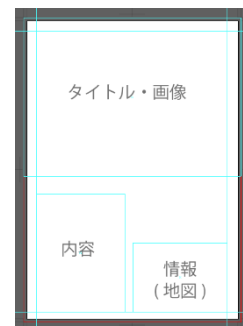
＜印刷会社へ印刷を依頼する際はトリムマーク（トンボ）が必要＞
 長方形ツールを選択し、[塗]無し、[線]無しでアートボードサイズ A4 の長方形を描きます。
 描いた A4 が選択されている状態でメニューの「オブジェクト」→「トリムマークを作成」を選択します。
 アートボードの四隅と 4 辺のセンターにトンボが作成されました。



5.2. レイアウトグリッドを作成

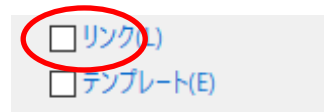
レイアウトを始める前に、タイトル・画像、内容、情報を掲載する位置やボリュームを決めておくと、レイアウトがしやすくなります。

- ① 長方形ツールを選択し、タイトル・画像を載せる位置に長方形を作成します。
- ② 同じように内容や情報エリアも長方形を配置します。
- ③ 作成した3つの長方形を選択し、「表示メニュー」→「ガイド」→「ガイドを作成」を選択すると、長方形がガイド線に変更されます。
- ④ トンボやガイドのレイヤーはグループにまとめてロックしておきます。



5.3. 画像の配置

- ① 新規レイヤーを作成します。画面右下の新規レイヤーアイコンを選択します。
- ② 「ファイル」→「配置」を選択し[ポスター画像_1.jpg]を選択、ウィンドウ下の「リンク」チェックを外して「配置」ボタンをクリックします。
- ③ 画像を配置したら位置や大きさを調整します。



※埋め込みで画像を配置するとリンク切れなどのトラブルを防げます。

＜リンクで配置した画像を後から埋め込みにする場合＞

リンク画像を選択、画面右のプロパティパネル下の「クイック操作」から「埋め込み」を選択します。

または、「ウィンドウ」メニューより「リンク」選択します。

リンクパネルの右上  クリックし、プルダウンメニューから、「画像を埋め込み」を選択します。



※画像は直接アートボードにドラッグ&ドロップでも配置できますがリンクで配置になります。

Win : [Shift]キーを押しながらドラッグ&ドロップで埋め込み。

Mac : [Shift]キーを押しながら、または[Caps Lock]がオンでドラッグ&ドロップで埋め込み。

5.4. 画像をマスクする

クリッピングマスク機能は、画像を指定した形で切り抜きができます。四角や楕円など図形の中に画像を表示させ、はみ出した部分を隠して見えない状態にします。マスクした画像は後から移動や拡大縮小が可能です。

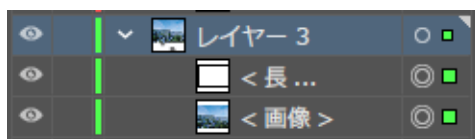
- ① 長方形ツールで画像を表示させる長方形を作成します。

※クリッピングマスクの長方形は、仕上がりより大きく伸ばし「塗り足し」部分を広げます。

＜塗り足しとは＞

背景を仕上がりのサイズよりも 3mm 大きく作成することで、フチなし印刷をしたときに余白をなくします

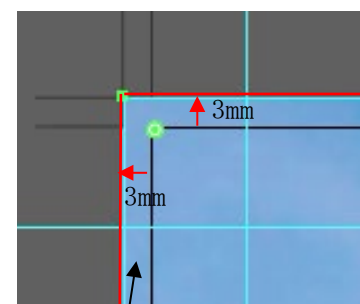
- ② レイヤーパネルでは長方形が上、配置した画像を下の重ね順にして2つを選択します。



- ③ 「オブジェクト」→「クリッピングマスク」→「作成」

配置した画像

作成した長方形



外トンボの「塗り足し」部分まで画像があります。

5.5. タイトルの作成

- ① 「文字ツール」を選択し文字入力を始めたい場所をクリックします。



- ② ツールオプションバーより「文字」をクリックして「文字パネル」を表示します。

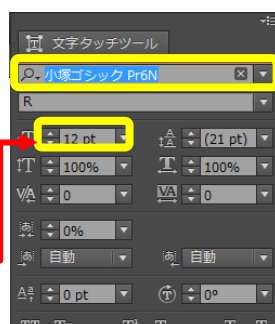


「文字」をクリックするとパネルが表示されます

- ③ 任意のフォントやフォントサイズに変更をします。

例) フォント：創英角ポップ体

フォントサイズ：60pt



「▲」と「▼」サイズが
変更できます

「▼」フォントが変更できます

※「文字パネル」は再度「文字」
をクリックすると消えます。

- ④ タイトル文字を入力します。

- ⑤ 「選択ツール」をクリックすると、文字列がラインで囲まれ選択されている状態になります。



- ⑥ カラーパレットから文字色を選択します。
ここでは、塗り「白」、線「なし」に設定します。



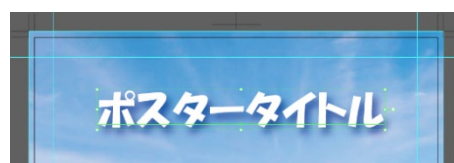
- ⑦ 文字に影を入れてみましょう。

「効果」メニュー「スタイライズ(S)」→「ドロップシャドウ(D)」を選択します。



カラー(C)：■ をクリックすると、影色を変更できます。

プレビュー：チェックを入れると設定状況の確認ができます。



- ⑧ サブタイトルも入れてみましょう。フォントサイズは
メインタイトルより小さく設定します。



5.6. パスファインダー

① 楕円形ツールを選択し楕円を作成します。

② 次に多角形ツールを選択し画面をクリックします。

「多角形」パネルが表示され[辺の数]を「3」に設定し[OK]ボタンをクリックすると三角形が作成されます。

③ 三角の大きさを調整して楕円と重ねます。

④ 「ウィンドウ」→「パスファインダー」を選択しパスファインダーパネルが表示されます。

⑤ レイヤーパネルで楕円レイヤーと多角形レイヤーの2つを選択し、パスファインダーの形状モードから左側の「合体」を選択します。

⑥ 楕円と三角が合体され1つのパスになりました。

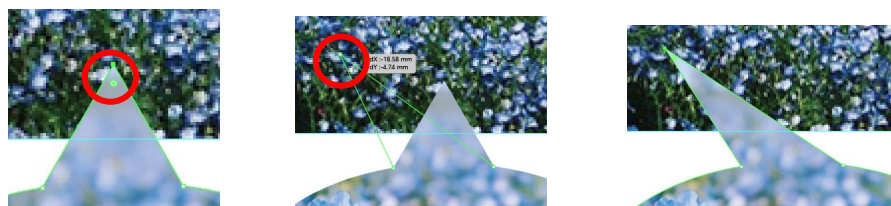
5.6.1 パスに画像を埋め込み

① 「ファイル」→「配置」を選択し[ポスター画像_2.jpg]を選択し画像を合体したパスに重ねて配置します。

② レイヤーパネルではパスが上、配置した画像を下の重ね順にします。

③ 2つのレイヤーを選択し「オブジェクト」→「クリッピングマスク」→「作成」します。

- ④ 「ダイレクト選択ツール」を選択し、パスの先を任意の位置にドラッグします。



- ⑤ レイヤーパネルのクリッピンググループを展開し[クリッピングパス]のみを選択します。
パスの線の色を[白]にし線の太さを[3pt]にします。
マスクが協調されて見やすくなります。



5.7. エリア内にテキストを挿入

オブジェクトのバウンディングボックス内に横組みまたは縦組で文字列を流し込みます。

- ① 配布資料の「テキストサンプル.txt」を開きます。

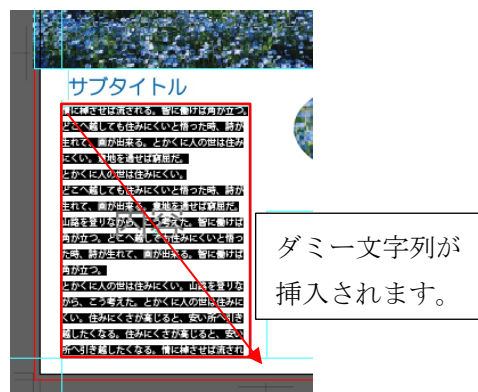
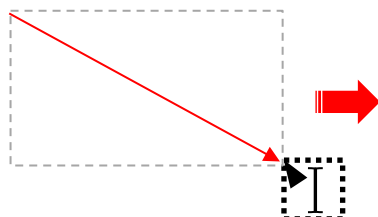
- ② テキストの内容をすべてコピーします。

(1)Win :「Ctrl」+「a」、 Mac :「command」+「a」

(2)Win :「Ctrl」+「c」、 Mac :「command」+「c」

- ③ Illustrator に戻り、**T** 文字ツールを選択します。

- ④ テキストを流し込むバウンディングボックスを
左上から右下にドラッグして描画します。



- ⑤ プロパティパネルでフォントサイズ[14pt]にして、コピーしたテキストを流し込みます。

(1)Win :「Ctrl」+「v」、 Mac :「command」+「v」

- ⑥ エリア内にテキストが収まらない場合は、右下にプラス記号が付きま
す。そのような時はフォントサイズを小さくするか、テキストエリアのパスを拡張
するとオーバーしたテキストが表示されます。



5.8. 地図を挿入

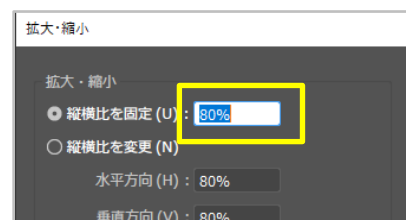
- ① 「ファイル」→「配置」から[マップ.jpg]を選択し、「配置」ボタンをクリックします。

画像の大きさを調節します。

- ② 地図画像を選択した状態で「拡大・縮小ツール」をダブルクリックし「拡大・縮小パネル」を開きます。



- ③ 「縦横比を固定(U)」:「80%」と入力し「OK」ボタンをクリックします。縮小した画像の位置を調整し配置します。



- ④ 目的地を楕円形ツール等で囲むとわかりやすくなります。



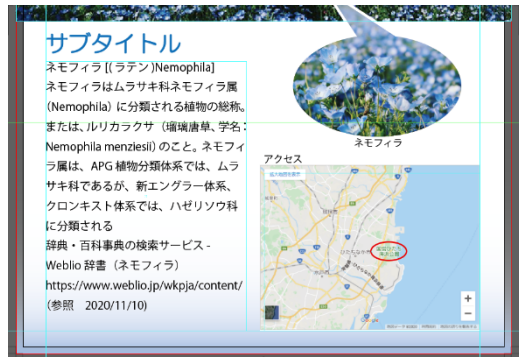
※地図画像の上に「アクセス」

吹き出し画像の下に、花の名「ネモフィラ」と入力します。

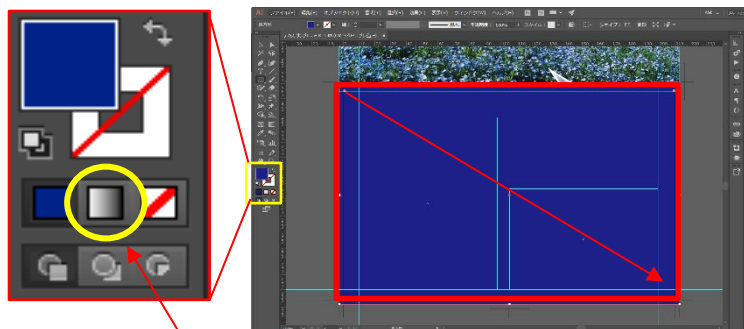


5.9. 背景のデザイン

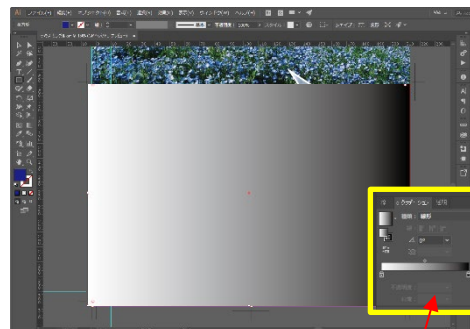
- ① ポスター下の背景にグラデーションを入れます。



- ② 長方形ツールを選択し、ポスター下の地色が白の部分塗り部分を塗り足し部分まで四角で囲みます。ツールバーのグラデーションをクリックするとアートボードに描いた四角がグラデーションになり、グラデーションパレットが表示します。

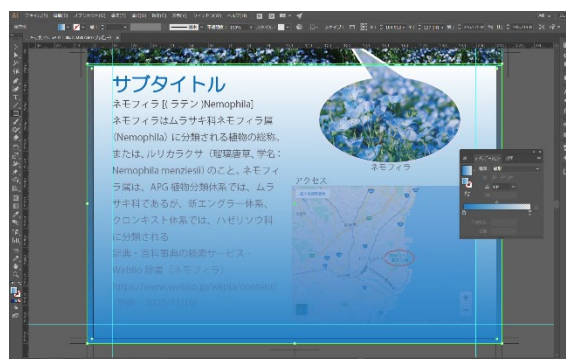
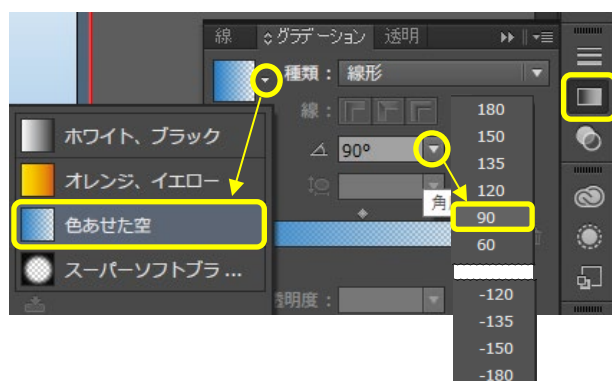


グラデーション

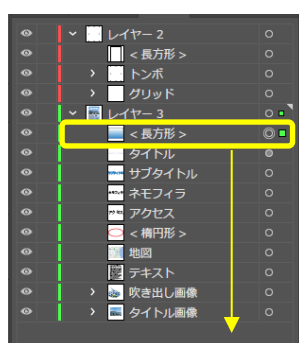


グラデーションパレット

- ③ グラデーションパネルから「色あせた空」を選択し、角度を 90° に変更します。

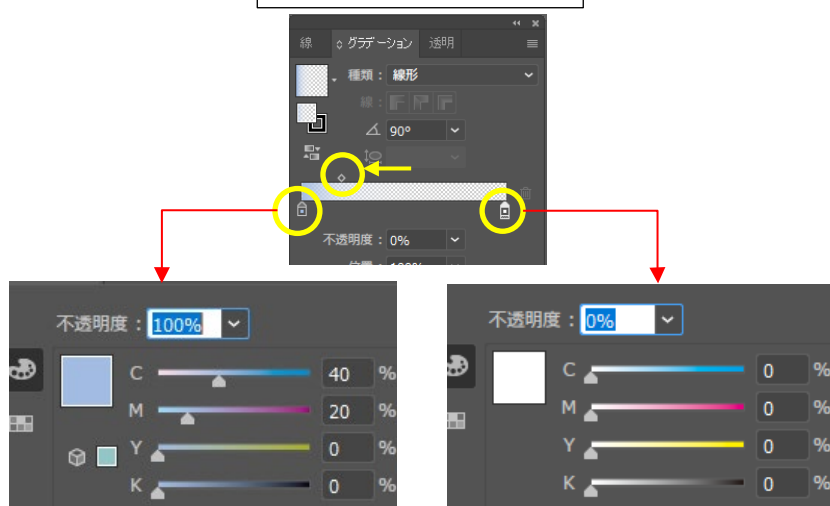
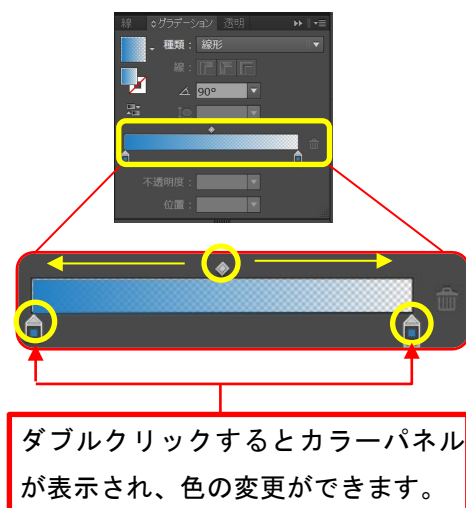


- ④ グラデーションの背景レイヤーを下に移動します。



- ⑤ グラデーションパネルのスライダーでグラデーションの位置や色の変更もできます。

ポスター完成例の設定



6 Illustrator の保存について

6.1. 拡張子「.ai」での保存

デザインの修正・変更の可能性がある場合、Illustrator 形式（拡張子「.ai」）で保存をしておけば更に内容を変更する事ができます

印刷会社などに Illustrator 形式（拡張子「.ai」）でデータを入稿する際は、データを「アウトライン化」にする必要があります。

<アウトラインとは>

文字をパスでできたオブジェクト（図形）に変える事です。どの PC で見てもデザインが変化しないようにする為にこのような処理をします。見た目には、変わらなくても全く違う扱いになります。テキストをすべて選択し、メニューバー「書式」→「アウトラインを作成」を選択します。

イラストレーターソフトが入ってない PC や人に画像を送る場合、WEB 上でこの画像を利用する場合、Illustrator 形式ですと、ファイルを開くことができません。あらかじめ汎用性の高い他の拡張子「.JPEG」や「.PNG」形式などで保存する必要があります。

6.2. WEB 上で利用する場合

① 「ファイル」メニューの「書き出し(E)」→「WEB 用に保存(従来)」を選択します。

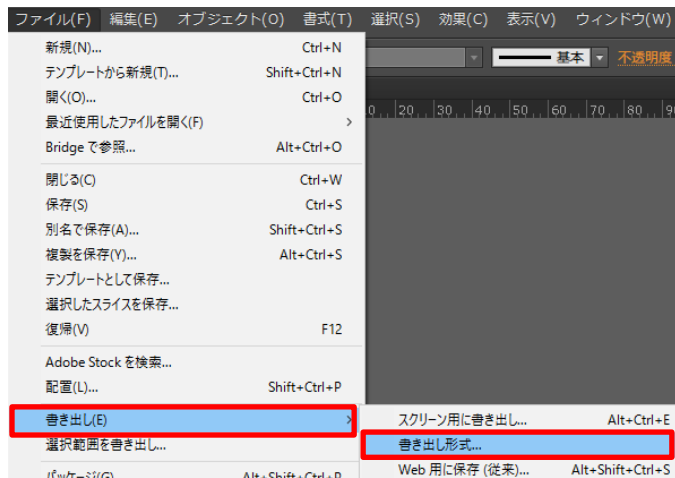


② プリセット画面にて拡張子と画像サイズを変更し、ファイルを保存します。

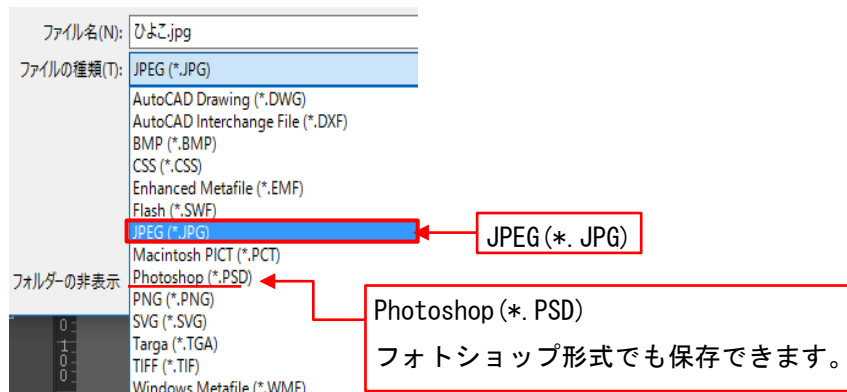
※拡張子を「JPEG」で保存すると、一般的な PC 環境でファイルを開覧することができます。

6.3. 印刷用に画像を綺麗に書き出す

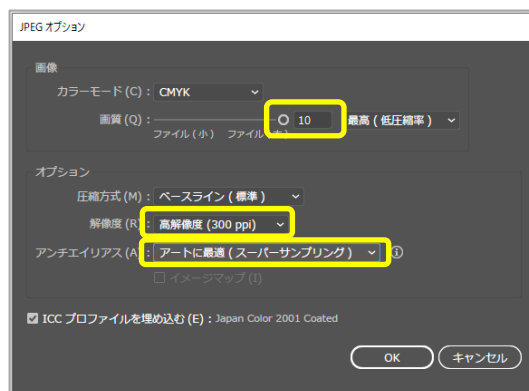
- ① 「ファイル」メニューの「書き出し(E)」から「書き出し形式」を選択します。



- ② 「ファイルの種類」を「JPEG(*.JPG)」に選択し「書き出し」をクリックします。



- ③ 「JPEG オプション」ウィンドウが表示されるので、画像の画質を「10」、オプションの解像度を「高解像度 (300ppi)」、アンチエイリアス「アートに最適 (スーパーサンプリング)」に設定しファイルを保存します。



<注意>

画質、解像度を高く設定すると、ファイル容量が大きくなるので保存先の空き容量を確認してください。

6.4. PDF で保存する

PDF はデータのやりとりが可能な汎用性の高いファイル形式です。

また、PDF にはデータをやり取りする用途に合わせ、国際標準化機構 (ISO) にて定められた規格があります。その中で印刷用途として定められているものが PDF/X です。

- ① 「ファイル」→「複製を保存」
- ② 保存先を選択し、ファイルの種類：「AdobePDF (*.PDF)」選択します。
- ③ AdobePDF を保存ウィンドウが開きます。
- ④ 「Adobe PDF プリセット」用途に応じて選択します。(下記の表を参考)
- ⑤ [オプション]設定では、「Illustrator の編集機能を保持」のチェックは Illustrator で作成した書類を PDF 書類として保存後に再編集する必要があるときは、チェックを入れます。

PDF のファイルサイズを優先するときはオフにします。

- ⑥ 「PDF を保存」ボタンをクリック

[Adobe PDF 保存のプリセット設定]

Illustrator 初期設定	Illustrator データがすべて保持された PDF を作成します。このプリセットを使用して作成した PDF では、Illustrator で再度開いたときにもデータの損失はありません。Illustrator のバージョンがわからない相手先とデータをやりとりするときに用います。
高品質印刷	デスクトッププリンターや校正デバイスでの高画質印刷に適した PDF を作成します。
雑誌広告送稿用	雑誌広告デジタル送稿推進協議会によって策定されたデータ制作ルールに基づいて、雑誌広告送稿用の PDF ファイルを作成します。
PDF/X-1a (2001 および 2003)	印刷に適した PDF を作成します。全フォントを埋め込み (サブセット)、透明部分を統合します。カラーは CMYK と特色が使われます。デフォルトのままでは、トンボと裁ち落としが指定されていないので、出力先の印刷条件に応じて適切に設定する必要があります。
PDF/X-4 (2008)	透明効果が使用された RGB ワークフローや文字の品質向上を主な目的として、透明効果を保持したままの PDF 運用を前提としています。PDF/X-1a や PDF/X-3 の後継の規格
プレス品質	デジタル印刷やイメージセッターまたは CTP への色分解などを目的とした印刷工程用の PDF ファイルを作成します。
最小ファイルサイズ	Web やインターネットでの表示、または電子メールでの配信に適した PDF ファイルを作成します。画像は比較的低い画像解像度にリサンプリングされます。すべてのカラーは sRGB に変換され、フォントは埋め込まれます。

<講座で使用了素材について>

辞典・百科事典の検索サービス - Weblia 辞書 (ネモフィラ)

<https://www.weblia.jp/wkpja/content/> (参照 2020/11/11)